

佐賀県立博物館

年報

昭和53年度

No. 9

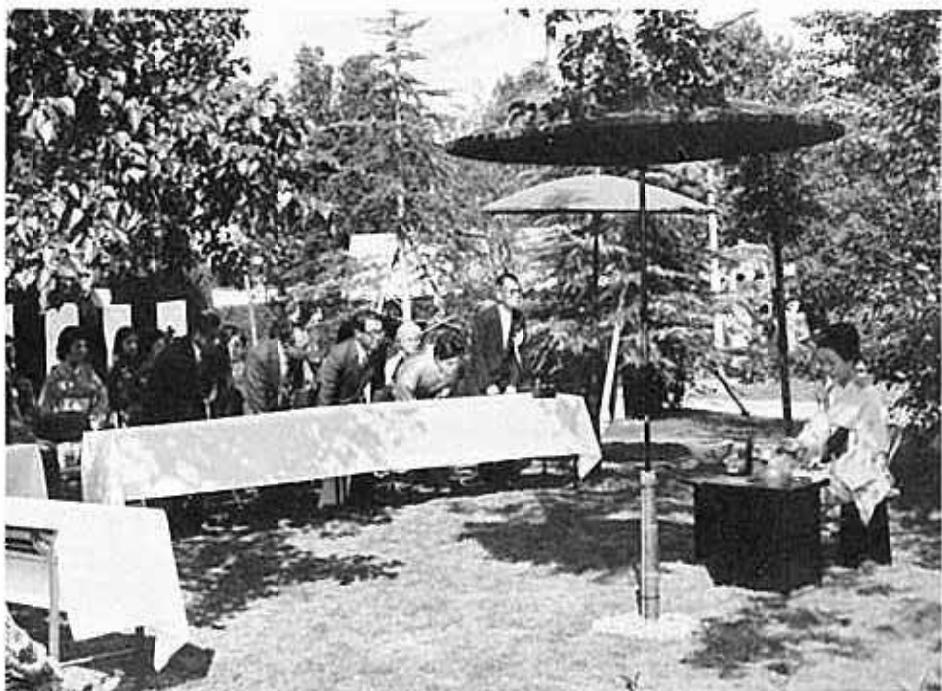


佐賀県立博物館全景

昭和 53 年度の主要行事写真



常陸宮殿下、同妃殿下 常設展「佐賀県の歴史と文化展」をご覧



茶室「清惠庵」落成 5 周年合同茶会

目 次

はじめに	1
管理の概要	2
1. 本館の沿革	2
2. 博物館日誌	3
3. 規模および施設	5
4. 組織	6
5. 博物館協議会	7
6. 昭和53年度歳出予算	8
事業の概況	9
1. 常設展	9
2. 企画展	12
3. 昭和53年度観覧者数	43
4. 普及活動	44
5. 発掘調査	46
資料の概況	47
1. 昭和52年度末資料の概況	47
2. 昭和53年度購入資料	50
3. 昭和53年度寄贈資料	54
4. 昭和53年度寄託資料	64
5. 昭和53年度購入・寄贈図書	68
茶室の管理と運営の概況	70
1. 茶室の規模および施設	70
2. 茶室の規則、規程	70
3. 茶室の利用状況	72
4. 茶道具備品	72
昭和54年度の事業計画	77
案内図	79

は　じ　め　に

このたび、昭和53年度の当博物館の事業概要をとりまとめました。当年度は開館以来第9年目にあたります。年度の重点目標を資料の整備、常設展の充実、特別企画展の開催において努力しましたが、関係各位のご支援とご協力を受け、それぞれ成果を挙げることができましたことを深く感謝いたします。

昭和53年度は、常設の「佐賀県の歴史と文化展」について、展示効果の向上と内容の充実に努めたほか、国立科学博物館のご協力によって「科学者、レオナルド・ダ・ビンチ展」や、「古唐津展」「地下の遺宝展」を特別に企画し、広く一般に公開展示したほか、それぞれの展示会の図録を刊行領布しました。

また外部との連けい企画展では「日展」「佐賀美術協会展」「七夕書道展」「佐賀県書作家協会展」「九州現代工芸展佐賀展」「理科作品展」「佐賀県美術展」「佐賀県高等学校書道展」「佐賀県学童美術展」「佐賀県高等学校美術展」「九州グラフィックデザイン展」「書初展」「佐賀県勤労者美術展」「佐賀大学卒業制作展」等を共催しましたが、企画にも参画して所期の実績をあげることができました。

しかし、現状を省りますとまだ不十分な点も多く、今後更に資料を充実整備し、研究調査体制の強化、展示内容の質的な向上、量的な拡大をはかるとともに、普及広報、教育活動を充実し、県民のための博物館として、事業の伸長をはかることに努めたいと考えております。

なお、53年5月4日には常陸宮殿下、同妃殿下が御来館され、常設展「佐賀県の歴史と文化展」をご覧いただきました。

また、故市村 清氏夫人幸恵氏の御寄贈による茶室「清恵庵」は、開室6年目を迎え、年々利用者、見学者も増え、多くの方に喜ばれております。53年11月5日には、開室5周年記念合同茶会を開催し、約1,500名に及ぶ多数の方々の出席を頂きました。県内には正式な茶室としては誠に数少い貴重な施設であり、利用の向上や十分な管理、運営に努めています。

以上、昭和53年度の概況を報告いたします。

昭和54年5月31日

佐賀県立博物館長 大塚正道

管 理 の 概 要

1. 本館の沿革

- 昭和23年4月1日 佐賀県中央公民館設置条例に基づき、中央公民館設置。
- 昭和26年4月1日 中央公民館設置条例が廃止され、佐賀県文化館設置条例に基づく県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を、博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき、佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和42年度に設計を委託し、建設計画に着手し、昭和43年度から45年度にわたる継続事業として建設することになる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和44年1月23日 佐賀県立博物館起工式。
- 昭和45年3月31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
- 昭和45年4月1日 佐賀県立博物館設置条例公布。
- 佐賀県立博物館協議会条例公布。
- 佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館竣工。
- 佐賀県立博物館設置条例施行。
- 博物館開設準備事務局廃止。
- 博物館職員の発令、館長以下18名。
- 佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年7月16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館記念式挙行。
- 昭和47年3月4日 鉄器減圧含浸装置を研究室に設置。
- 昭和47年12月20日 城内公園の一部（西側駐車場、東側噴水）が佐賀土木事務所から博物館に管理委任される。
- 昭和48年10月10日 茶室「清恵庵」を市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。茶室落成式。
- 昭和50年9月20日 古賀忠雄氏作「岬の男」（ブロンズ）前庭に据付完成。
- 昭和52年12月12日 佐賀藩鋳造鉄製「カノン砲」（復元）玄関前据付完了。
- 昭和53年11月5日 茶室「清恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。

2. 博物館日誌

(昭和53年度)

53年

- 4月1日 職員人事異動
「第9回日展」開場
- 4月23日 「第9回日展」終了（総観覧者数38,945名）
- 4月24日 「常設展」「レオナルド・ダ・ビンチ展」準備のため臨時休館（5月2日まで）
- 5月3日 前期常設展「佐賀県の歴史と文化展」開場
科学者「レオナルド・ダ・ビンチ展」開場
- 5月4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」をご観覧
- 5月24日 科学者「レオナルド・ダ・ビンチ展」終了（総観覧者数7,223名）
- 6月15日 「佐賀美術協会展」開場
- 6月25日 「佐賀美術協会展」終了（総観覧者数2,673名）
- 8月1日 「七夕書道展」開催
- 8月3日 韓国文化財普及協会事務局長安敬高氏他3名来館
県政学童バス55名来館
- 8月6日 「七夕書道展」終了（総観覧者数1,786名）
- 8月8日 「佐賀県書作家協会展」開催
- 8月13日 「佐賀県書作家協会展」終了（総観覧者数759名）
- 8月19日 「九州現代工芸展佐賀展」開場
- 8月27日 「九州現代工芸展佐賀展」終了（総観覧者数1,095名）
- 9月14日 「理科作品展・佐賀市支部展」開場
- 9月18日 「理科作品展・佐賀市支部展」終了（総観覧者数1,599名）
- 9月20日 「理科作品展・佐賀県展」開場
- 9月25日 「理科作品展・佐賀県展」終了（総観覧者数3,900名）
- 10月1日 前期常設展「佐賀県の歴史と文化展」終了（総観覧者数8,153名）
- 10月2日 「古唐津展」準備のため臨時休館（6日まで）
- 10月7日 「古唐津展」開場
- 10月9日 米国大使マンスフィールド氏来館
- 10月14日 「古唐津展」記念講演会
「唐津の歴史と技法」講師陶芸家中里太郎右衛門氏
- 10月24日 第1回博物館協議会
- 10月28日 「古唐津展」記念講演会
「古唐津の美をもとめて」講師佐賀女子短期大学教授永竹威氏
- 11月3日 移動博物館を篠木町にて開催（5日まで総観覧者数950名）

- 11月 5日 茶室・清恵庵、落成 5 周年記念合同茶会。市村茂人、内田祥哉、早川正夫の各氏が来席
「古唐津展」終了（総観覧者数 11,163 名）
- 11月 6日 「佐賀県美術展」準備のため臨時休館（17 日まで）
- 11月16日 肥前町百田洞穴発掘調査（25 日まで）
- 11月18日 「佐賀県美術展」開場
- 11月19日 東京大学教授内田祥哉氏、大阪芸術大学教授高橋龍一氏、九州芸術工科大学長吉武泰水氏来館
- 11月26日 「佐賀県美術展」終了（総観覧者数 10,702 名）
- 11月30日 「佐賀県高等学校書道展」開場
- 12月 3日 後期常設展「佐賀県の歴史と文化展」開場
- 12月 4日 韓国忠南大学校教授成周鐸氏他 1 名来館
- 12月 5日 「佐賀県高等学校書道展」終了（総観覧者数 809 名）
- 12月 8日 「佐賀県学童美術展」開場
- 12月12日 「佐賀県学童美術展」終了（総観覧者数 2,953 名）
- 12月15日 「佐賀県高等学校美術展」開場
- 12月20日 「佐賀県高等学校美術展」終了（総観覧者数 749 名）
- 12月28日 執務納め
- 54年
- 1月 4日 執務始め
- 1月21日 「九州グラフィックデザイン展」開場
- 1月25日 第 2 回博物館協議会
「九州グラフィックデザイン展」終了（総観覧者数 707 名）
- 1月27日 「書初展」開場
- 1月31日 「書初展」終了（総観覧者数 1,598 名）
- 2月 4日 「勤労者美術展」開場
- 2月 8日 「勤労者美術展」終了（総観覧者数 902 名）
- 2月20日 「佐賀大学卒業制作展」開場
- 2月23日 「佐賀大学卒業制作展」終了（総観覧者数 607 名）
- 3月 3日 「地下の遺宝展」開場
- 3月10日 「地下の遺宝展」記念講演会
「発掘調査の成果と課題」講師北九州市立歴史博物館主幹小田富士雄氏
- 3月12日 県政バス 50 名来館
- 3月25日 「地下の遺宝展」終了（総観覧者数 3,933 名）
- 3月27日 中国訪日団来館
- 3月31日 後期常設展「佐賀県の歴史と文化展」終了（総観覧者数 4,039 名）

3. 規模および施設

規 模

(1) 本館 構造 鉄筋コンクリート造 3階建

規 模 敷地面積 30,962.0 m² (公園を含む)

建築面積 2,149.1 m²

延床面積 4,630.8 m²

(2) 茶室 (清恵庵) 構造 木造平屋建

規 模 床面積 57.35 m²

施設概要

ロビー

(案内所、常設展受付) 349.5 m²

1号展示室 193.6 m²

2号展示室 352.0 m²

3号展示室 484.0 m²

大展示室 523.5 m²

中展示室 136.0 m²

収蔵庫並整理室 392.5 m²

研究室(ガス・水道付) 66.0 m²

館長室、応接室 60.0 m²

事務室 80.0 m²

資料調査室 64.0 m²

撮影暗室 24.0 m²

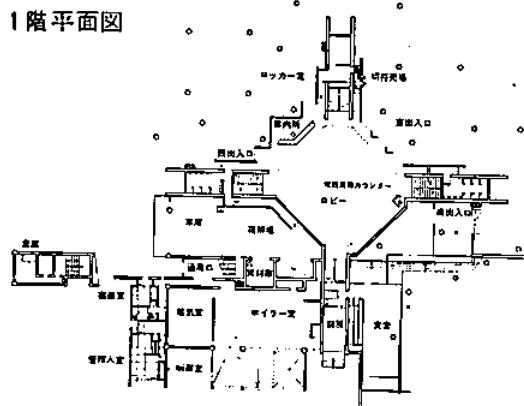
車庫 56.0 m²

荷解場 86.0 m²

電気室 48.0 m²

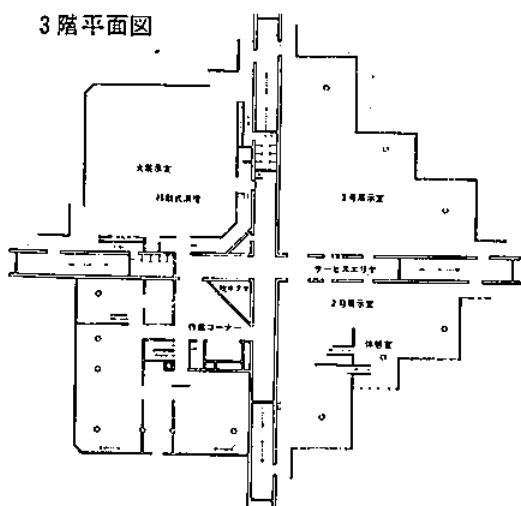
ボイラ室(制御室を含む) 181.0 m²

1階平面図

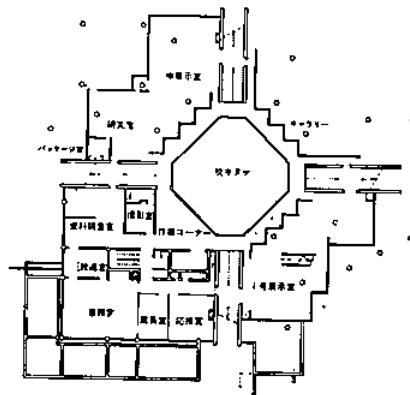


平面図

3階平面図

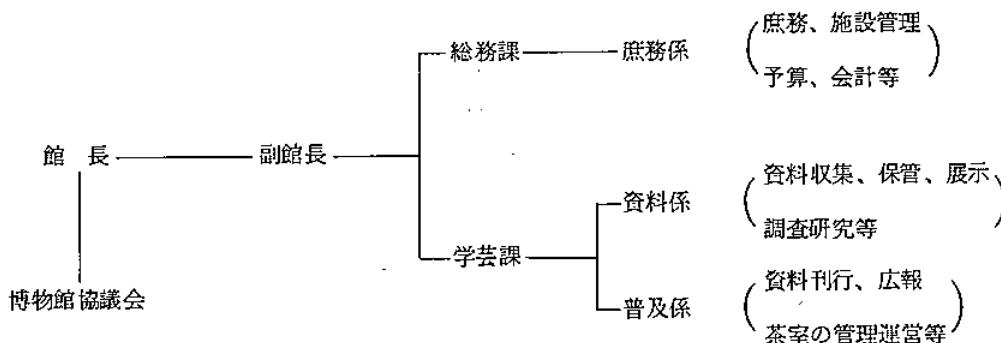


2階平面図



4 組

織



職員名簿 (54. 3. 31現在)

				人事異動
館 長	松 崎 利 彦	彦 雄	昭和53年4月1日	
副 館 長	古 野 幸 雄	○転 入		
総 務 課 長	酒 見 四 郎	副館長 古野幸雄 (佐賀保健所総務課長より)		
庶 務 係 長 (事務取扱)	酒 見 四 郎	総務課庶務係主事 野口吉江 (社会教育課庶務係主事より)		
主 事	野 口 吉 江	学芸課普及係主事 鶴丸敦子 (青少年交通安全対策室主事より)		
"	小 林 静 明	学芸課資料係学芸員補 藤口健二		
技師(兼務)	古 川 宣 明	○転 出		
	(本務県体育館)	副館長 小森清次 (印刷局長へ)		
技 術 員	穂 月 勝	次 事		
事務員(守兼運)	坂 井 卓 次	○新 採		
"	小 石 武 彦	学芸課資料係学芸員補 藤口健二		
技 術 員(運)	竹 下 仁 三	○転 出		
学 芸 課 長	手 塚 静 雄	副館長 小森清次 (印刷局長へ)		
資 料 係 長	尾 形 善 郎	総務課庶務係主事 松永豊子 (社会教育課庶務係へ)		
学 芸 員 补	志 佐 悅 彦	昭和53年7月31日付		
学 芸 員	森 醇 一 朗			
"	吉 永 陽 三			
学 芸 員 补	藤 口 健 二	学芸課資料係学芸員 三輪英夫 (東京国立文化財研究所へ)		
"	松 本 誠 一			
非常勤嘱託	浜 野 四 郎	昭和53年8月1日付		
普 及 係 長 (事務取扱)	手 塚 静 雄			
主 事	鶴 丸 敦 子	○新 採		
"	山 田 窨 生	学芸課資料係学芸員補 松本誠一		

5. 博物館協議会

委員名簿（定員15名）

(昭和54年3月31日現在)

種別	氏 名	現職名	住所
学校 社会教育 関係	高添門司	佐賀県公民館連合会長	伊万里市大川町大川野
	掛林貞夫	多久市教育長	武雄市宮野町7班
	渕ノ上友規	有田工業高等学校校長	西松浦郡有田町中部赤坂
	田中明	江北小学校長	杵島郡江北町観音下
学 識 経 験 者	星野英夫	祐徳博物館長	鹿島市域内
	内山良男	佐賀大学名誉教授	佐賀市本庄町5本杉16
	村山宅美	佐賀大学名誉教授 佐賀県理科教育振興会会长	佐賀市北川副町木原4本柳
	三好不二雄	佐賀大学名誉教授	佐賀市赤松町11-11
	石本秀雄	佐賀大学名誉教授	佐賀市中の小路9-29
	岸田勉	石橋美術館長	久留米市津福本町931の4
	岡崎敬	九州大学文学部教授	福岡市東区香住ヶ丘3丁目20-15
	米倉利昭	佐賀大学教育学部教授	佐賀市本庄町大字本庄528-1
	平田寛	九州大学文学部教授	福岡県宗像郡宗像町日の里5丁目3-35
	久野二一	佐賀県議會議員	杵島郡有明町大字牛屋3051
	河村健太郎	佐賀新聞社編集局長	佐賀市本庄町三本松

協議会開催状況

第1回 (53・10・24)

- 議題
- (1) 昭和52年度事業報告
 - (2) 昭和53年度事業計画
 - (3) 昭和53年度事業予算
 - (4) その他

第2回 (54・1・25)

- 議題
- (1) 昭和53年度事業報告
 - (2) 昭和54年度事業計画
 - (3) 昭和54年度事業予算
 - (4) その他

第3回 (54・3・10)

- 議題
- (1) 昭和53年度事業報告
 - (2) 昭和54年度事業計画
 - (3) 昭和54年度当初予算
 - (4) その他

6. 昭和53年度歳出予算

昭和53年度歳出予算一覧

科 目	予算額(単位千円)
1. 博物館運営費	53,051
管理運営費	51,871
会議及び研修費	740
博物館協議会費	440
2. 資料整備費	42,043
資料購入費	37,551
資料整理費	4,492
3. 研究調査費	1,547
研究費	431
調査費	1,116
次年度企画展調査費	100
歴史資料調査費	100
肥前町百田洞穴2次調査	396
調査研究報告書	520
4. 特別企画展費	7,450
理科作品展費	50
レオナルド・ダ・ビンチ展	1,800
肥前の古唐津展	4,500
地下の遺宝展	1,100
5. 常設展費	2,073
6. 普及事業費	678
研究講座費	38
巡回展示費	40
資料刊行費	600
7. 茶室管理運営費	1,873
8. 茶室5周年茶会費	1,400
計	110,115

事業の概況

1. 常 設 展

佐賀県の歴史と文化展

主催 佐賀県立博物館

会期 前期 昭和53年5月3日～昭和53年10月1日

後期 昭和53年12月3日～昭和54年3月31日

会場 前期 1・2・3号展示室

後期 中・回廊・1・2・3号展示室

観覧料 ①個人

大人50円 大・高生30円 中・小生20円

②団体(20名以上)

大人30円 大・高生20円 中・小生10円



出 品 目 錄

1. 前 期 (53・5・3～10・1)

自然史(1号展示室)

①岩 石

- ・佐賀県の岩石…球状閃緑岩、珪石など8点
- ・化石…ヨコヤマオウムガイ、二枚貝、ナウマン象の歯など10点

②鳥 類

- ・佐賀県の鳥類…カササギ、アカヤマドリ、ハシボソカラス、キジバトなど45点

③・佐賀県の蝶類…5ケース

- ・佐賀県のトンボ類…5ケース

④植 物

- ・佐賀県の植物標本…ラン、ブナ、タデ科など37点

- ・エビメアヤメの生態模型

⑤タイラノザウルスの生態模型

⑥佐賀県の模型

⑦有明海漁撈用具など25点

考 古(2号展示室)

①先土器時代…尖頭器、黒曜石原石など

- 行花文鏡、管玉、耳環、ガラス小玉など)、

②縄文時代…石器類(県内各地出土・石斧、石

- 永池古墳壁画、太田古墳石室模型

錐など)、土器類(白蛇山出土など)

⑤古 代

③弥生時代…石包丁、炭火米、土器類、鏡類、

- 経塚出土品…多久市多久町山崎経塚、杵島郡大

青銅器類、貝釧、金印、カメ棺など

町田法堤経塚、セセリ谷経塚、肥前国背振

④古墳時代…土器類、武具(短甲、直刀剣など)、

山経塚

農具(手斧、鉄斧、鎌など)、装身具(内

歴 史（2・3号展示室）

仏像・仏画…阿弥陀如来坐像、釈迦三尊及び比
丘像、東妙寺古図、善財童子歴参図など

写経…紙本墨書き法華経（元、至正5年）

①藩政成立の前後

肥前名護屋城図屏風、豊臣秀吉の朱印状、高
麗陣成富茂安組着到、豊臣秀吉禁制など25点

②藩政期の文教

天縱殿扁額・鬼丸聖堂の聖像3体、葉隱聞書、
弘道館印書籍など14点

③幕末維新の佐賀

鍋島直正の肖像画、反射炉図・精煉方図・三重
津海軍所絵図など、佐賀藩製造蒸気車雛型、佐
賀藩製造蒸気船雛型、佐賀ガラス（金魚鉢、コ
ップなど）、好生館の資料

美術工芸資料（3号展示室）

①刀 剣

初代忠吉の刀、三代忠吉の刀、六・七代忠吉
の刀、八代忠吉の刀、九代忠吉の刀、国広の
刀など11点

②絵 画

- ・百武兼行（マンドリンを持つ少女など4点）
- ・久米桂一郎（リンゴ拾いなど3点）
- ・小代為重（チームズ河畔など2点）
- ・岡田三郎助（花野など10点）
- ・岡田三郎助遺品（愛用の絵具箱、傘、男胸像
など）

③陶磁器

- ・古伊万里系…染付梅花図欧字文注器、染錦婦
人像など4点

・柿右衛門系…色絵花文輪花形鉢、色絵花鳥図皿
など5点

・鍋島藩窯系…色鍋島唐草花地文向付、色鍋島
けしの花文高台皿

・古唐津系…飴縁釉櫛刷毛目大鉢、二彩唐津松
絵鶴首瓶など8点

④鍋島更紗

・鍋島更紗幔幕、鍋島更紗秘伝書、鍋島更紗見
本帖など15点

⑤佐賀錦

・佐賀錦懐紙入、煙管入と煙草入など12点

⑥鍋島段通

・唐草花文、蟹唐草文など4点

2. 後 期（53・12・3～54・3・31）

民 俗（中展示室・回廊）

有明海の漁撈具…タイラギかき、円座、オシオ
ケなど26点

玄海の捕鯨具…捕鯨砲、もり、よろずなど12点
名護屋の海士…タコツボ、アワビオコシなど6

点

機織り…かせくり、いとぐるまなど8点

農村の年中行事…パネル写真19点うすなど

自然史（1号展示室）

佐賀県の植生

植物…エヒメアヤメの生態など

生物…鳥類 タカ、カササギ、マナヅルなど	佐賀県の地質
35点	岩石…球状閃綠岩、珪石、讃岐石など14点
蝶類 5 ケース	化石…ヨコヤマオウムガイ、光鱗魚化石など19
甲虫類 5 ケース	点

考 古（2号展示室）

- ①先土器時代…尖頭器、サスカイト原石、黒曜石原石など
- ②縄文時代…石器類（石槍、石斧、石サジ、打製磨製石鎧など）、土器類（曾畠系、無文、磨消縄文土器など）、チャンチンモドキなど
- ③弥生時代…石器類（石砲丁、石錐、石斧など）、土器類（壺形、甕形、高杯、甕棺など40点）、炭化米（三日月町出土）、鏡、装身具（流雲
- 文縁方格規矩四神鏡、貝釧など）、武器（銅劍、銅才など）
- ④古墳時代…武器、武具（短甲、鐵劍など）、馬具、鏡、装身具（四獸鏡、貝釧、勾玉など）、祭祀用品（子持勾玉、円筒埴輪）、土器類（土師器、須恵器など63点）、西隈古墳壁画、田代太田古墳壁画復元模写図

歴 史（2・3号展示室）

- 古代…肥前古寺出土瓦（寺浦庵寺出土、三重弧文軒平瓦など5点）
- 経塚出土品（多久市多久町山崎経塚出土品など14点）
- 中世…仏像（木像聖観音像（模造））、小城岩蔵寺天部立像など4点
- 近世…龍造寺隆信、政家、高房三代画像、龍造寺隆信着用桶側二枚胴具足、名護屋城関係資料、慶長肥前国絵図（模写）、山色云々七言絶句四行詩（吉賀精里）、大竹図自画贊屏風（草場佩川）、白帝城古詩屏風（洪浩然）
- 藩政期の文教…葉隱聞書、愚見集など
- 幕末から明治へ…佐賀藩精煉方資料、築地石火矢鑄立方図、精煉方図、佐賀藩製造蒸氣車雛型、鍋島直正肖像図、唐草杏葉文蒔絵文箱、唐草扇面蒔絵御櫃、古梅図自画贊画（武富坦南）、先憂後楽二行書（鍋島直正）

工 芸（3号展示室）

- 肥前の陶磁器
- 古唐津系…二彩唐津松絵水甕、象嵌文鉢など5点
- 初期伊万里系…天狗谷古窯出土染付松梅文瓶、青磁彫花文瓶など4点
- 古伊万里系…染錦御所車風俗図ひげ皿など3点
- 柿右衛門系…濁手彩絵花蝶八橋文壺、色絵花文輪花形鉢など
- 鍋島藩窯系…色鍋島けしの花文高台皿、色鍋島更紗文高台皿など6点
- 現代の名品…濁手色絵花鳥文花瓶、唐津叩き壺など5点
- 鍋島更紗…秘伝書、見本帖、漫幕、端切など

鍋島段通

佐賀錦（鹿島錦）…懐紙入、習作など

絵画（3号展示室）

- ・百武兼行（風景、古城跡など3点）
- ・久米桂一郎（泊船、フランス風景など4点）
- ・岡田三郎助（風景、花野など2点）
(風景習作7点)
- ・小代為重（シンガポール、チームズ河畔2点）
- ・高木背水（朝鮮風景、風景など3点）
- ・山口亮一（みどりの庭、わらや 2点）
- ・三根霞郷（水溜り、上賀茂風景など3点）

2. 企画展

(1) 第9回日展

主 催 社団法人日展、佐賀県、佐賀県立博物館、佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀市教育委員会、サガテレビ、西日本新聞社

後 援 文化庁、佐賀県文化団体協議会、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県商工会連合会、佐賀県農協中央会、佐賀県婦人連絡協議会、佐賀県連合青年団、日本国有鉄道九州総局

会 期 昭和53年4月1日～4月23日

会 場 1・2・3号展示室、大展示室、ロビー、旧食堂

観覧料	一般	大・高生	中学生	小学生
当 日 券	600	400	300	200
前売・団体	450	300	200	100
団体は20名以上				

出陳作品数 日本画76点、洋画98点、彫塑50点、工芸美術67点、書54点、地元作家作品66点、計411点

おもな出品作家（順不同）

日本画 三輪晃勢、大山忠作、森田沙伊、山口華楊、小野竹喬、池田遙邨、東山魁夷、橋本明治、高山辰雄、奥田元宋、西山英雄、関主税、加倉井和夫、佐藤太清、麻田辨白、猪原大輔、梶原絢佐子、山岸純、堂本元次、佐藤団夫

洋画 内山孝、倉員辰雄、山田新一、新道繁、鈴木千久馬、小山敬三、田崎広助、鬼頭鍋三郎、中村琢二、江藤純平、石本秀雄、井手宣通、高光一也、橋原健三、朝比奈文雄、村岡平蔵、岩下三四、岡田又三郎、伊藤清永、高田誠



彫 塑 北村西望、分部順治、澤田政広、松田尚之、圓鏡勝三、北村治禧、木下繁、書間弘、進藤武松、富永直樹、清水多嘉示、安田周三郎、緒方敏雄

工芸術 山崎覚太郎、楠部弥式、中里重利、蓮田脩吾郎、佐野猛夫、浅見隆三、高橋節郎、辻光典、安原喜明、中里太郎右衛門、山脇洋二、古賀大眉、青木龍山、染川鐵之助、浅藏五十吉

書 西川寧、安東聖空、青山杉雨、村上三島、木村知石、殿村藍田、廣津雲仙、岡本松堂、吉野松石、今関脩竹、佐藤祐豪、中村龍石、吉田成堂

展示概況

日展は、わが国を代表する美術展で、その歴史は古く明治40年文部省主催の文展として始まり、以後、帝展、新文展と呼称を改め、戦後、日展となつた。昭和33年、民間の社団法人となり、同44年機構を改めて再発足し、今回が9回展である。

第一科（日本画）、第二科（洋画）、第三科（彫塑）、第四科（工芸美術）、第五科（書）からなり各界一流の美術家を擁し、現代日本美術の真髄を見せる総合美術展であった。

23日間に38,945人の観覧者を数えた。

(2) 科学者 レオナルド・ダ・ビンチ展

主 催 佐賀県立博物館

佐賀県教育委員会

後 援 佐賀県理科教育振興会

国立科学博物館

会 期 昭和53年5月3日～5

月24日

会 場 大展示室

観 覧 料	大人	大・高生	中・小生
個人	150	100	50
団体	100	50	20



写 真 集 展示物の写真及解説（頒布）

展示概況

航空関係、船関係、機構関係、機械関係、実験測定器、土木機械、建築合計51点を分類して展示了。

出 品 目 錄

はばたき飛行機、ヘリコプター、垂直飛行機、パラシュート、二重船体、船首模型、外輪船、遊星齒車、運動の変換、三段式变速機、カム装置、カム式往復運動装置、間歇運動装置、ギヤ式ブーリー、ローラー・ベアリングを用いた車、組合わせ滑車、自動水平装置、脱進機構、時計機構、回転式距離計、計算機の原理、ジャッキ、攻城用はしご、やすり目たて機、旋盤、複ねじジャッキ、な

わない機、複式紡績機、自動車、戦車、三段式速射砲、印刷機、自動くし焼装置、円錐形のバルブ、水車、アルキメデスのらせんポンプ、水力のこぎり、永久機関、揚水機、水くみ機、レンズの組合わせ、投影装置、流速計、天秤式湿度計、傾斜計、風力計、ワイヤー試験機、教会、王室用厩舎、二階式橋、旋回橋

(3) 第61回佐賀美術協会会展

主 催 佐賀美術協会、佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館

会 期 昭和53年 6月15日～6月25日

会 場 3号・大展示室

観 覧 料 無料

展 示 概 況

佐賀美術協会は60余年の歴史をもち、佐賀県美術展とならんで有力な登龍門となっている。

日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門にわたり一般公募を行い、入選作と会員・会友の作品を合わせて233点を展覧。11日間に2,673人の観覧者を数えた。

出 品 目 錄 (受賞作・会員会友作のみ)

日本画			佐賀県知事賞	座る女Ⅱ	朝長恵子
奨励賞	さざんか	岸川美和子	納富進賞	生き子	山口善平
佐賀議長賞	ポピー	池田淳之助	武藤辰平賞	緑の背景	塚本猪一郎
佐賀市長賞	シーサー	多久竜太郎	彫 刻		
佐賀美術協会賀賞	葉ばたん	染川陽子	佐賀美術協会賀賞	或るポーズ	藤本恵三
洋 画			奨励賞	首習作Ⅰ	権藤俊男
奨励賞	惑うかくれんぼ	牟田常文	佐賀教育委員会賞	信国像	吉竹弥生
奨励賞	埴輪G	小野久馬	佐賀県知事賞	風が吹いても	宮崎甲
佐賀美術協会賀賞	ブランコ	大石恵三	工 芸		
奨励賞	夢想	神辺千賀子	佐賀県文化団体協議会賞	白磁壺	庄村健
奨励賞	日曜日	原口美津子	佐賀美術協会賀賞	白磁波紋壺	中尾恭純
奨励賞	ゴトンゴトンA	中尾和紀	佐賀県知事賞	仰き見る世界	下山恵史
奨励賞	保養の庭Ⅱ	大西正昭	奨励賞	型染め・とりたち	徳永武洋
山口亮一賞	想	藤森茂次	佐賀教育委員会賞	白濁なまご釉花	"
高柳種行賞	繩工	土井とも子	奨励賞	鉄彩文平鉢	勝田文博
佐賀教育委員会賞	農夫と牛B	宮崎大治郎			

会員会友作品

日本画

会 員	新緑	小柳為次郎
会 員	農夫	納富末由

会員	紙すき	岩永京吉	会員	牛骨とたまねぎ	古賀昭雄
会員	小屋の片隈	西岡一義	会員	人形のある静物	久富邦夫
会員	籠と野菜	中山勲	会員	里	北島治樹
会員	工事場	諸田和彦	会員	曲芸	真島健児郎
洋画			会員	転生	川本達也
会員	港の風景	筒井茂雄	会員	女と矢車草	真子達夫
会員	夕立前	菊池義泰	会員	夕立前	菊池義泰
会員	しょうぶ園	古川誠逸	会員	少女	深草廣平
会員	食事	金子剛	会員	赤いテーブル	小杉英太
会員	花	西山正人	会員	しあわせのくる首	井手誠一
会員	秋	蒲原密雄	会員	サン・マルコ追想 (ベニス大統領)	水落光博
会員	作品	山口孝行	会員	根子岳	吉田昭彦
会員	風景	太田啓子	会員	五月	江口明
会員	触闘	成富鮎子	会員	新春	深川善次
会員	待つ人	古賀和夫	会員	赤い海	音成三男
会員	方向	久保博邦	会員	八幡岳	牟田口貞夫
会員	九重高原風景	若林景光	会員	梅雨空	大宝耕太郎
会員	マレーシアの少年	杉本好守	会員	河岸	村岡一
会員	ランプのある静物	杉本弘子	会員	老梅	富崎長太郎
会員	唐津遠望	野中勝正	会員	海の夢	上滝泰嗣
会員	バーンホール ショトラーセ	藤田秀穂	会員	視差	光武洋
会員	筑後河畔	光岡等一	会員	祭り	多久島純子
会員	誕生	蒲原伸子	会員	土手のある水田	江口孝徳
会員	五月の聖廟	宮崎繁樹	会員	ロアールの古城	吉田進一
会員	老楠	竹下泰彦	会員	水門	上崎修一
会員	碎石場風景	鶴義男	会員	風景	岩永光正
会員	スペースデザイン	小杉道久	会員	高台の教会	田崎恵之
会員	日課	先崎民憲	会員	ヴェッキオ橋	山田直行
会員	麦秋	兵動健吾	会員	朝市78-1	毛藤忠
会員	圃場にて	下平武敏	会員	枯れ地のシャクナゲ	下村康二
会員	筑後川満潮	副島行高	会員	午后	岡本留男
会員	琉球のパイナップル畑	北島兵一	会員	まつり	山村熊雄
会員	モンマルトルにて	田中一利	会員	雪渓	高柳博
会員	石畠道	緒方保男	会員	教室	広島巣

会員	MOON-BEACH (沖縄)	藏 楽 貞 勝	会員	流影	草 場 正 人
会友	有明海	藤崎健次郎	会友	青白磁花器	坂 本 義 弘
影 刻			員	ろう染帶地 (あざみ紋)	田 口 テ ル
会員	習作(馬)	服 卷 栄 児	員	初 冬	森 栄 子
会員	笛と少年	古 賀 義 治	友	晚 秋	東 島 広 義
会員	ちづるの首	吉 田 義 文	員	華	辻 毅 彦
会員	立像	成 富 宏	員	型 絵 染 帯 「花」	平 坂 純
会友	奏	増 富 彰 子	員	連 峰	藤 井 良 明
会友	由 美 子	山 崎 恵 一	友	未 明	大 園 万 里 子
会員	貝	山 本 民 二	友	野 の 花	寺 田 ミ ツ エ
会員	間	武 藤 三 男	員	豊	外 尾 博 直
工芸			員	鉄 砂 吳 須 櫛 目 文 壺	丸 田 正 美
会友	黒 天 目 軸 壺	大 宅 恒 博	員	青 白 磁 五 方 割 花 瓶	樋 渡 陶 六
会員	白 磁 方 壺	県 有	員	紋 様 鉢	宮 尾 正 隆
会員	染錦深鉢(朝)	斎 藤 勉	員	木 版 摺 更 紗 帯 (花 紋)	鈴 田 照 次
会友	初 夏	藏 楽 瑞 恵	員	釉 裹 金 彩 蕙 舟 花 壺	小 野 琦 子
会員	豊 陽	青 木 龍 山	員	粉 引 手 草 花 文 皿	江 口 勝 美
会員	白 瓷 「蓄」 壺	松 本 平	員	紛 引 壺	溝 上 秀 次
会員	彫 刷 毛 目 牡 丹 文 鉢	佐 藤 走 波	員	強 伸	辻 貞 男
会員	清 川	松 尾 重 利	員	重 葉	城 秀 男
会員	白 磁 鶴 首 花 瓶	中 村 清 見	員	凍 風 の 海	小 川 泰 彦
会友	木 蓼	大 庭 キ ミ 子	員	山 間 の 詩	鈴 田 浩

(4) 佐賀県七夕書道展覧会

主 催 佐賀県書道教育連盟、佐賀県立博物館

会 期 昭和53年8月1日～8月6日

会 場 大展示室

觀 覧 料 無料

出 品 概 况

総出品数 4,016 点

佐賀県知事賞3、佐賀県教育委員会賞10、佐賀県立博物館賞10、佐賀県文化団体協議会賞10、佐賀県書道教育連盟賞10

賞の基準 特選 出品点数の1割

秀 作 " 1.5 割

佳 作 " 3.0 割

入選　全作品

(5) 佐賀県書作家協会展

主 催 佐賀県書作家協会、佐賀県立博物館

会 期 昭和53年8月8日～8月13日

会 場 大展示室

観覧料 無料

出品概況

出品者 会員 62点、公募 83点、計 145点

受賞数 佐賀県書作家協会賞 3点、奨励賞 3点、秀作 4点

(6) 第11回九州現代工芸展佐賀展

主 催 現代工芸美術家協会、佐賀県立博物館

会 期 昭和53年8月19日～8月27日

会 場 大展示室

観覧料 無料

展示概況

現代九州の新しい工芸の方向づけのために制作活動を続ける九州の工芸作家の昭和53年度の作品を展示するとともに、九州在住の工芸を愛する人々を対象として公募された作品を展示した。会員の部42点、会友の部21点、公募の部37点、特別陳列23点、総数123点。9日間に1,095人の観覧者を数えた。

受賞作品

会員の部				
唐津市長賞 磁 白磁花器	田中 一	九州会長賞 陶 模索1	梶 芳正	
九州会長賞 陶 鉄釉大鉢	西郷 等	唐津市議長賞 陶 雨あがり	高巣典子	
九州会長賞 陶 積	田中隆昭	唐津市教育委員会賞 (〃) 阿蘇の噴煙	高津明美	
佐賀県知事賞 磁 青い塔	辻 敏彦	佳作賞 (〃) 静寂の森	中玉利要	
優秀賞 磁 波	藤井良明	" 磁育	原構成	
優秀賞 陶 接	中野忠	" 陶野の花	寺田ミツエ	
優秀賞 (〃) 染の作品	橋 日東士	" 木花芯	岳野博昭	
優秀賞 陶 山間の詩	鈴田 浩	公募の部		
優秀賞 (〃) 南海蝕	森 露子	唐津市長賞 陶 煙	木下充子	
会友の部		九州会長賞 (〃) 溶	高橋春夫	
唐津市長賞 陶 赫湯1	有山明宏	佐賀県教育委員会賞 磁 果	古賀末広	

唐津商工会議所会頭賞	柴 蒼鶴	徳永 武洋	磁 擾	青木 龍山
有田商工会議所会頭賞	(〃) 菊	藏染 瑞恵	陶 接	中野 忠
西日本新聞社賞	陶 涼	岩崎 正	柴 作品	田中嘉生
サガテレビ賞	陶 つば	石橋紀代文	人 NOH-PLAY	橋 日東士
テレビ西日本賞	陶 光と波のファンタジー	榎田麗子	人 憧憬	白水正興
九州会奨励賞	柴 寂光	杉野 京	陶 翠雲	北岡秀雄
"	(〃) 蜂聚	古賀荘悟	陶 扁壺年輪譜	岡部六弥太
"	(人) 陽だまり	松尾勇直	陶 鉄軸大鉢	大田 緑
"	陶 蛾	島谷啓介	柴 蝶	西郷 等
出品目録				
会員の部 (42点)				
磁 青白磁壺		吉田 勝彦	陶 炭炎	大畠 久
柴 初冬		森 栄子	柴 啼く	岩橋 正輝
磁 穀		宮尾 正経	陶 夏の海	有山 礼石
陶 かなえ		溝上 秀次	陶 想-V	有山 長佑
磁 清流		松尾 重利	木 取り残された岩	重松 勝也
磁 曙		前田 泰昭	柴 玄象	米田 明生
磁 波		藤井 良明	磁 青白磁壺	高木 清次
磁 みのり		中島 均	磁 蕾	高木 兹朗
陶 叩き唐津 三島象嵌 鮫壺	中里 太郎 右衛門	磁 菴	陶 萌	福永 幸夫
陶 叩き壺		中里 重利	陶 南海蝕	森 露子
磁 青い塔		辻 敏彦	会友の部 (21点)	
磁 涛		辻 貞男	陶 流紋 (1)	山本 律夫
磁 白磁花器		田中 一	陶 草立	福島 清海
柴 積		田中 隆昭	柴 野の花	寺田ミツエ
柴 山間の詩		鈴田 浩	陶 緑釉壺	田中政臣
柴 樹		城 秀男	陶 灰文壺	江口宗山
磁 染付瓶		草場 正人	人 ゆらめき	平川康彦
柴 有明の幸		小川泰彦	人 遠花火	白石一敏
柴 木蓮		大庭キミ子	人 白蔵主	小野寿弘
陶 花三島象嵌壺		大橋 裕	柴 シクラメンの……	日高美知子
磁 色絵方壺		県 有	柴 樹精	林 郁子
			皮 構成V	原田テル子
			織 诸のうた	永松美穂子

染	静寂の森	中玉利 要	染	枯蓮	柴田しおり
陶	ハイビスカス	野津手 和	陶	つば	石橋紀代文
磁	育	原 構成	磁	白磁鉢	松尾博之
染	阿蘇の噴煙	高津明美	磁	群生	諸隈 実
竹	荒磯	白石白雲斎	染	蜂聚	古賀莊悟
木	花芯	岳野博昭	染	薔	藏樂瑞恵
染	雨あがり	高巣典子	(人)	陽だまり	松尾勇直
陶	模索Ⅱ	梶 芳正	(人)	花壳り	佐藤好昭
陶	赫陽Ⅱ	有山明宏	陶	溶	高橋春夫
公募の部 (37点)			染	樹	野添真知子
染	夏の花	石坂はるひ	陶	鉄釉平鉢	佐藤直昭
染	野の花	林 美砂緒	磁	花盛	坂本義弘
陶	叩き壺	下山田昌子	磁	朝風	東島広義
陶	叩き黒い壺	福山陽子	特別陳列作品 (23点)		
織	光と波のファンタジー	榎田麗子	磁	渦潮	草場正人
陶	連作土の華一G	西郷隆文	(人)	色絵方壺	県 有
陶	トラベル・シー	ホオズリース	(人)	爽雲	辻 穀彦
木	虫の器	栄 富貴	(人)	円想	辻 貞男
陶	涼	岩崎 正	(人)	嶺	田中 一
陶	蛾	島谷啓介	(人)	青い珊瑚礁	吉田勝彦
陶	緑釉壺	藤ノ本民義	(人)	五岳	宮尾正隆
竹	壺	岩尾 直	(人)	曙天	前田泰昭
磁	果	古賀末広	陶	叩き三島象嵌 魚文壺	中里太郎門
皮染	草	中島玲子	(人)	展	右衛門
磁	青白磁花瓶	堀 満男	(人)	新雪 (雉)	橘 日東士
染	蒼い董	徳丸 環	染	晚秋	故城下久実
染	花炎	薬師寺英子	(人)	海溝	森 栄子
陶	煥	木下充子	(人)	樹林	鈴田 浩
染	あやめ	福岡真一	(人)	有明の亩	城 秀男
染	仰ぎ見る	下山恵史	(人)	伴天連の譜	小川泰彦
染	寂光	杉野 京	(人)	N O H - P L A Y	北岡秀雄
陶	SHE II、そのイメージ	入来英成	陶	赤い実	白水正興
染	蒼鶲	徳永武洋	染	回帰	溝上秀次
染	燐搖	吉田泰子			田中隆昭

磁 線
(〃) 白磁壺

青木龍山
中島 均

櫻 冬華
白磁壺

大庭キミ子
松尾重利

(7) 理科作品展

理科作品展佐賀市支部展

主 催 佐賀県理科教育振興会佐賀市支部、佐賀県立博物館

会 期 昭和53年9月14日～9月18日

会 場 大展示室

観 覧 料 無料

出 品 概 況

出品点数 小学校 137点、中学校 53点、計 190点

受 賞 特選 小学校 39点、中学校 18点 佳作 小学校 98点、中学校 35点

理科作品展佐賀県展

主 催 佐賀県理科教育振興会

佐賀県立博物館

会 期 昭和53年9月20日～9月25日

会 場 大展示室、中展示室

出 品 概 況

出品点数 小学校 184点、中学校 54点

高等学校 9点、計 247点

受 賞 特選数 小学校32点、中学校17点

高等学校 9点、計 58点

入選数 小学校40点、中学校12点、計 52点



(8) 古唐津展—肥前陶器の歴史と美を探る—

主 催 佐賀県立博物館

会 期 昭和53年10月7日～11月5日

会 場 1・2・3号展示室、大展示室

観 覧 料 大人 大・高生 中・小生

個人 300 200 100

団体 200 100 50

講 演 会 会場 大展示室

第1回 10月14日



講師 陶芸家 中里太郎右衛門氏

演題 「唐津の歴史と技法」

第2回 10月28日

講師 佐賀女子短期大学教授 永竹威氏

演題 「古唐津の美をもとめて」

図録 古唐津一肥前陶器の歴史と美を探る一 200頁 領価 1,500円

展示概況

唐津焼は肥前一帯で焼かれた陶器をさすもので、室町時代に渡来した李朝陶工によって胎動期をむかえ、日常雑器の製造から発展し、桃山時代以降は茶人に愛用され茶陶として高い評価を受けるようになった。

この展観は伝世する名品をはじめ県内の古窯址及び日本各地の近世遺構から出土した陶片、関係資料を展示した。30日間に 11,163 人の観覧者を数えた。

出品目録

No	品 名	窯 名	高さ	口径	高台径 (底径)	備 考
● 種類と名称						
1	奥高麗茶碗「舟越」		7.0	11.0	4.6	田中丸コレクション
2	奥高麗茶碗「ざざれ石」		8.3	15.2	6.7	出光美術館
3	奥高麗茶碗「曙」		8.2	14.1	5.9	出光美術館
4	奥高麗茶碗		8.3	15.3	4.5	
5	瀬戸唐津皮鯨茶碗		6.1	15.2	4.6	東京国立博物館
6	本手瀬戸唐津茶碗		7.0	14.5	5.5	
7	絵唐津高脚小鉢	焼 山 窯	10.5	10.6	T 5.6	梅沢記念館
8	絵唐津枝垂柳文大皿	甕屋の谷窯	9.6	38.7	11.0	梅沢記念館
9	絵唐津飛鳥文片口	内田皿屋窯	12.3	21.3×23.5	18.6	
10	絵唐津葦文水指		17.0	15.4	10.5	出光美術館
11	絵唐津点斑文壺		18.1	13.1	T 10.7	田中丸コレクション
12	彫唐津茶碗	飯洞甕下窯	8.5	12.0×14.0	6.0	
13	斑唐津茶碗	帆 柱 窯	7.0	11.5×12.5	4.5	
14	斑唐津壺	帆 柱 窯	11.0	8.0×9.0	5.5	
15	朝鮮唐津徳利	藤の川内窯	27.5	8.5	T 13.0	
16	朝鮮唐津八角花生	藤の川内窯	22.0	5.5	T 8.3	
17	青唐津茶碗	飯 洞 甕 壺	6.3	12.5	6.3	
18	青唐津皿	飯 洞 甕 壺	2.5	11.0	4.5	
19	黄唐津馬監茶碗	飯 洞 甕 壺	4.8	11.5	5.8	
20	黄唐津茶碗		7.5	13.5	5.5	
21	辰砂唐津茶碗	宇土の谷窯	12.1	7.7	5.7	
22	辰砂唐津茶碗	椎 の 峯 窯	7.5	9.3×10.8	5.6	
23	黒唐津天目茶碗	内田皿屋窯	6.5	12.0	4.6	
24	黒唐津舟徳利	田 代 窯	22.0	6.7	T 16.3	
25	黒唐津(蛇蝎唐津)茶碗	井谷谷、李祥古窯	11.9	8.3	5.5	出光美術館

26	三島唐津茶碗	大草野窯	7.3	135×13.8	5.7	
27	三島唐津象嵌花文大皿	庭木窯	9.4	37.5	14.2	佐賀県立博物館
28	三島唐津象嵌雲鶴文大鉢	庭木窯	11.5	41.5	14.0	佐賀県立博物館
29	三島唐津耳付水指	大草野窯	17.5	13.9	T 11.4	田中丸コレクション
30	三島唐津象嵌立鶴文徳利	庭木窯	44.0	7.0	15.0	
31	三島唐津刷毛目茶碗		6.0	13.2	5.2	滴翠美術館
32	三島唐津櫛刷毛目茶碗	木原窯	9.0	12.5	5.5	
33	三島唐津刷毛目台鉢	椎の峯窯	11.5	20.5	10.2	
34	三島唐津刷毛目花器	小田志窯	29.0	12.0	13.5	
35	三島唐津櫛刷毛目搔落文花生		24.5	9.1		田中丸コレクション
36	三島唐津櫛刷毛目徳利		21.0	5.3	T 6.8	
37	三島唐津櫛刷毛目花文皿	小峰窯	3.5	16.5	4.5	
38	三島唐津型紙刷毛目将棋駒文平茶碗	川古窯の谷窯	5.0	18.5	5.8	
39	二彩唐津櫛目文大鉢	内田大谷窯	19.0	53.0	16.0	佐賀県立博物館
40	二彩唐津五耳付牡丹唐草文壺		32.0	14.2	T 15.8	
41	献上唐津雲文茶碗	唐人町窯	8.3	12.3	5.3	
42	絵唐津紅葉文茶碗	唐人町窯	9.5	12.0	5.0	
43	絵唐津鳩桃文大皿	唐人町窯	4.4	30.8	18.0	
44	献上唐津玉乗り獅子香炉	唐人町窯	16.5			
● 唐津の名陶						
1	奥高麗茶碗「糸屋唐津」		7.5	15.4	5.3	
2	彫唐津茶碗「玄海」	飯洞甕下窯	10.1	14.2	7.4	
3	絵唐津木賊文茶碗	甕屋の谷窯	9.0	12.7	4.8	田中丸コレクション
4	瀬戸唐津皮鯨茶碗		6.0	15.9	5.1	滴翠美術館
5	瀬戸唐津茶碗		6.3	9.6	5.1	出光美術館
6	奥高麗茶碗「躍虎」		7.7	13.8	6.3	逸翁美術館
7	絵唐津刷輪文茶碗	道園窯	7.8	12.5	5.5	出光美術館
8	絵唐津筒茶碗		7.9	12.1	5.5	出光美術館
9	絵唐津盃茶碗	甕屋の谷窯	8.5	90×14.3	6.0	滴翠美術館
10	黒唐津洲浜形茶碗		9.0	11.8×13.2	6.0	
11	斑唐津皮鯨茶碗	帆柱窯	7.0	11.5	5.0	
12	土井唐津伊羅保茶碗	坊主町窯	6.7	140×14.8	5.6	
13	絵唐津千鳥片輪車文壺	甕屋の谷窯	15.4	12.4	9.3	
14	絵唐津樹木文壺	甕屋の谷窯	14.2	10.8	9.3	
15	絵唐津葦文壺	市ノ瀬高麗神窯	12.5	14.7×15.0	8.8	
16	斑唐津壺	帆柱窯	11.6	10.3	6.7	
17	絵唐津草つなぎ文水指		15.6	9.6	8.5	出光美術館
18	絵唐津葦文水指	市ノ瀬高麗神窯	16.5	10.0	9.2	
19	朝鮮唐津水指「盧瀑」		17.1	12.0	T 7.7	
20	備前唐津矢筈口水指		18.6	17.1×18.2	T 18.5	
21	叩き黒唐津耳付四方水指「福の神」	甕屋の谷窯	19.1	12.1	T 17.0	
22	朝鮮唐津耳付花生	藤の川内窯	23.9	5.8	T 9.6	出光美術館
23	唐津染付薄文掛花入		20.5	9.0×9.1		出光美術館
24	絵唐津大海茶入		5.1	4.3	T 4.9	出光美術館
25	絵唐津百合柳文高脚香炉	阿房谷窯	13.3	6.7	T 5.9	梅沢記念館

26	絵唐津山文手付大鉢	藤の川内窯	13.2	26.5	9.8	
27	絵唐津蒲公英文沓鉢	斐屋の谷窯	9.0	13.9×16.9	6.0×7.0	
28	絵唐津葦文輪花小鉢	斐屋の谷窯	7.2	15.0	T 5.2	
29	絵唐津水草文小鉢	多久高麗谷窯	6.9	13.4×17.8	T 6.2	
30	絵唐津松文大皿	焼山窯	10.9	43.9	13.3	梅沢記念館、重要文化財
31	絵唐津藤文(沢写文)四方皿	市若屋敷窯	5.2	17.9×18.6	T 5.2	
32	絵唐津草文皿(三客)		4.0	17.0	5.3	
33	絵唐津木賊輪違文六角向付	内田皿屋窯	8.6	10.2	5.4	
34	絵唐津草花文四方向付(五客)		8.3	5.1×5.1	4.1	田中丸コレクション
35	絵唐津草文蛤形向付(五客)	斐屋の谷窯	5.3	14.4×15.4	T 4.7	
36	朝鮮唐津徳利		23.3	胴径15.8	T 9.5	逸翁美術館
37	絵唐津竹文徳利		15.6	4.5	T 5.9	
38	斑唐津ぐいのみ	帆柱窯	8.3	13.1×14.7	T 6.1	
39	絵唐津草文ぐいのみ	阿房谷窯	7.6	6.4	3.9	
● 唐津の源流						
● 叩きの流れ						
1	金海土器		20.0	19.2×19.7		
2	新羅叩き壺		32.0	13.0×14.0		
3	高麗黒陶鶴首瓶		28.4	8.7	T 12.9	
4	李朝叩き徳利		26.7	7.2	T 11.5	
5	李朝叩き舟徳利					
6	李朝叩き飴釉壺		14.5	13.5	T 14.3	
7	李朝叩き刷毛目壺		15.6	11.2	T 13.7	
8	叩き飴釉壺	飯洞斐窯	30.0	16.0	T 14.0	
9	叩き飴釉壺	飯洞斐窯	40.0	19.0	T 20.0	
10	叩き飴釉壺	飯洞斐窯	14.7	12.8	T 14.4	佐賀県立博物館
11	叩き黒唐津三耳付壺		29.4	9.8	T 13.6	
● 鉄絵の流れ						
12	高麗鉄砂梅瓶		23.5	5.5	T 8.5	
13	李朝鉄砂笹文壺		13.4	13.5	7.6	
14	李朝鉄砂蘭文壺		24.0	15.1	10.1	
15	李朝鉄砂草花文壺		19.0	13.0	9.8	
16	李朝鉄砂草花文瓶		20.2	6.0	T 7.0	
17	鶴竜山絵刷毛目壺		17.0	11.7	8.5	
18	鶴竜山牡丹文瓶		31.0	6.7	7.0	
19	鶴竜山人参葉文瓶		28.0	5.5	7.3	
20	鶴竜山絵紛引筐文瓶		30.0	7.5	8.3	
21	絵唐津壺		12.5	12.0	T 6.7	
22	高麗青磁黑白象嵌華文鉢		8.0	20.2	5.4	
23	高麗黑白象嵌雲鶴文鉢		5.3	19.0	6.5	
24	李朝三島慶州長興庫銘入鉢		6.3	19.0	6.9	
25	李朝三島象嵌花文鉢		8.2	19.8	6.0	
26	三島象嵌草花文依壺		16.5	4.6		東京国立博物館
27	彫刷毛目魚文鉢		15.8	27.5	11.3	東京国立博物館
28	李朝叩き櫛刷毛目壺		18.8	14.3	T 13.5	

	● 高麗茶碗					
29	大井戸茶碗「佐野井戸」		13.6	15.9	5.9	東京国立博物館
30	熊川茶碗「田子の月」		8.5	13.3	5.3	東京国立博物館
	● 唐津の古窯					
	● 岸岳古唐津					
1	叩き青唐津壺	飯 洞 窯	28.0	11.0×130	T 10.5	
2	叩き青唐津壺	"	18.0	12.5	T 17.2	
3	青唐津茶碗	"	9.0	14.5	6.0	
4	唐津片身替茶碗	"	9.7	13.0×142	6.7	
5	唐津掛け分け茶碗	"	8.0	11.0×13.0	7.0	
6	青唐津馬盥茶碗	"	4.5	8.0	5.5	
7	青唐津ぐいのみ	"	4.3	6.0× 6.7	3.5	
8	無地唐津ぐいのみ	"	4.7	6.0× 6.8	6.0	
9	黄唐津動物像	"	2.8	長 8.0		
10	絵唐津波縁皿	"	5.5	16.0	6.0	
11	青唐津徳利	"	11.0	3.6	4.5	
12	朝鮮唐津茶碗	帆 柱 窯	7.0	11.7×126	5.0	
13	斑唐津茶碗	"	7.3	11.2×123	5.2	
14	斑唐津四方向付	"	5.8	12.0×140	4.5	
15	斑唐津片口	"	6.0	10.7×11.5	4.5	
16	無地唐津平皿	"	4.0	10.8×11.4	4.9	
17	斑唐津山盃	"	5.0	9.0× 9.5	4.0	
18	斑唐津ぐいのみ	"	5.5	6.0× 8.0	T 3.2	
19	絵唐津水指	"	11.8	10.8	6.8	
20	斑唐津皮鯨四方平皿	岸 岳 皿 屋 窯	3.5	12.5	4.0	
21	斑唐津皮鯨波縁皿	"	3.5	12.0	5.0	
22	斑唐津皮鯨小徳利	"	9.5	2.5	T 3.5	
23	斑唐津片口	"	19.0	17.0×17.8	7.0	
24	無地唐津筒茶碗	道 納 屋 谷 窯	6.2	9.5	5.0	
25	青唐津ぐいのみ	"	4.7	6.3× 7.0	4.0	
26	絵唐津片口	"	11.5	16.0	7.5	
27	青唐津茶碗	平 松 窯	6.5	11.5	4.5	
28	斑唐津平茶碗	山 潤 窯	5.0	15.4×16.0	4.8	
29	絵唐津ぐいのみ	"	4.8	8.0	3.5	
30	斑唐津山盃「五客」	"	3.6	6.5	2.7	
31	斑絵唐津皿	"	4.0	10.7×11.7	4.0	
32	青唐津茶碗	小 十 官 者 窯	6.0	11.5	4.5	
33	無地唐津皿	"	2.5	10.5×11.0	4.8	
	● 松浦古唐津					
34	絵唐津水草文皿	大 川 原 窯	2.8	17.5	5.8	
35	唐津黄地緑彩茶碗	"	8.0	12.3	5.0	
36	黄唐津皿	"	3.5	15.0×15.6	5.5	
37	辰砂唐津茶碗	椎 の 峯 窯	7.0	9.7	4.7	
38	奥高麗茶碗「鳴戸」	"	9.0	14.5	6.5	
39	二彩唐津絵刷毛目草文大皿	"	8.5×10.5	37.5	11.7	

40	絵唐津簿文皿	椎の峯 窯	3.8	13.5×14.0	4.8
41	叩き青唐津舟徳利	焼 山 窯	27.0	8.0	T 16.0
42	青唐津瓢形水指	"	15.0	11.0	T 14.0
43	絵唐津小鉢	"	5.3	16.7×17.6	6.0
44	絵唐津四方向付	"	11.5	8.6	5.0
45	叩き彫唐津矢筈口水指	"	16.7	14.0	T 19.0
46	叩き青唐津A字銘大甕	斐屋の谷窯	64.0	30.5	T 24.0
47	絵唐津海老文大皿	"	9.0	39.8	10.0
48	絵唐津松文皿	"	2.5	17.5	8.0
49	黒唐津天目盃	"	4.5	8.7×8.9	3.2
50	絵唐津胴紐沓茶碗	"	7.5	10.5×16.8	5.0×5.5
51	絵唐津簿文壺	"	9.0	8.5	7.5
52	叩き青唐津舟徳利	"	3.8	17.7	4.6
53	絵唐津平茶碗	"	3.8	17.7	4.6
54	絵唐津茶碗	道 園 窯	7.5	10.2×11.6	5.0
55	絵唐津桧垣文筒茶碗	"	6.0	11.2	4.7
56	絵唐津草文皿	"	6.5	17.5×23.5	6.2
57	絵唐津草花文平向付	"	4.5	14.2	4.8
58	黒唐津茶入	"	9.5	2.0	5.0
59	絵唐津柿の花向付(五客)	"	6.5	9.8	3.5
60	絵唐津草文簿茶器	"	8.6	5.7	3.8
61	絵唐津草文茶碗	"	6.5	7.0×12.0	5.0
62	黒唐津茶碗	明尊寺裏窯	7.5	10.7×11.5	4.5
63	絵唐津耳付四方向付	阿房谷窯	3.1	12.3	5.6
64	絵唐津三足付小鉢	"	6.7	14.0	
65	絵唐津向付(五客)	"	5.5	10.5×11.0	5.2
66	絵唐津弓矢文四方向付	"	5.0	14.5×15.5	5.2
67	叩き朝鮮唐津徳利	"	14.5	6.3	T 9.3
68	黒唐津片口	藤の川内窯	12.5	15.0×19.0	T 10.5×11.0
69	朝鮮唐津徳利	"	21.5	5.5	T 8.0
70	叩き唐津南蛮徳利	"	24.0	6.7	T 12.0
71	斑唐津徳利	"	21.0	5.6	T 7.5
72	黒唐津天目茶碗	"	6.8	10.5×11.3	4.0
73	奥高麗茶碗	"	9.0	12.5	5.5
74	斑唐津手付水注	"	15.8	10.0	T 12.0
75	朝鮮唐津手付水注	"	18.5	10.3	T 10.6
76	黒唐津天目茶碗	勝 久 窯	5.5	9.5×13.0	5.0
77	朝鮮唐津天目茶碗	金 石 原 窯	7.0	10.2	4.5
78	黒唐津茶碗	"	7.0	10.2	4.5
79	黒唐津徳利	"	20.0	7.0	6.2
80	緑唐津徳利	"	20.7	6.5	6.5
81	黒唐津蓋付壺	"	14.0	8.7	7.0
82	朝鮮唐津茶碗	岳 野 窯	7.3	11.2	5.5
83	絵唐津草文皿	狼 ケ 鞍 窯	3.6	12.5	4.6
84	絵唐津葦唐草文片口	市ノ瀬高麗神窯	10.0	15.5	7.0

85	絵唐津草文水指	市ノ瀬高麗神窯	17.0	10.5	9.5	
86	奥高麗茶碗	"	8.8	16.3×17.0	7.0	
87	絵唐津茶碗	権現谷窯	7.0	11.0	5.0	
88	唐津輪花形皿	牧の櫻谷窯	4.0	11.0	4.7	
89	土井唐津菖蒲文大皿	坊主町、唐人町窯	8.2	38.6	20.2	
90	絵唐津葦雁文水注	唐人町窯	15.0	13.5	T 9.0	
91	唐津獅子形香炉	"	22.0			
92	絵唐津両耳付つくし文水指	坊主町、唐人町窯	16.0	14.5	T 15.0	
93	絵唐津花鳥文鉢		3.7	24.0×31.0		田中丸コレクション
● 武雄古唐津						
94	三島唐津刷毛目茶碗	小峰窯	7.5	11.5	5.0	
95	三島唐津象嵌花文鉢	"	8.5	28.5	8.0	
96	絵唐津草文皿	"	5.0	19.0	5.2	
97	絵唐津草文茶碗「荒城」	一位の樹山窯	7.0	11.5×12.0	5.0	
98	絵唐津茶碗	古那甲の辻窯	4.7	11.3×12.7	6.0	
99	黒唐津徳利	"	13.5	3.8	T 6.0	
100	絵唐津皮鯨茶碗	祥吉谷、李祥古場窯	6.0	10.8×11.4	4.3	
101	黒唐津天目茶碗	"	5.6	11.0×11.8	4.4	
102	蛇蟠唐津洲浜形茶碗	"	8.3	11.0	5.4	
103	黒唐津耳付水指	"	17.0	14.0	T 15.0	
104	黒唐津ソーメン手茶碗	黒牟田窯	7.0	10.5×11.5	4.5	
105	黒唐津算盤玉形土瓶	"	9.0	8.0	7.0	
106	絵唐津菊文徳利	"	25.0	4.0	7.0	
107	辰砂唐津筒茶碗	宇土の谷窯	8.3	10.3	5.2	
108	絵唐津皿(二枚)	鋸谷窯	4.2	12.5	4.5	
109	叩き唐津舟徳利	山中窯	32.5	9.5	T 18.0	
110	叩き黒唐津大甕	"	65.0	27.5	T 21.0	
111	二彩唐津松文皿	川古窯の谷窯	8.5	28.0	8.8	
112	二彩唐津松文徳利	"	20.5	4.5	T 7.2	
113	三島唐津型紙刷毛目菊藤文皿	"	3.8	14.5	5.0	
114	絵唐津柳文向付	内田皿屋窯	9.5	9.7	4.2	佐賀県立博物館
115	絵唐津草花文輪花形平鉢	"	6.5	16.0×16.7	5.5	
116	絵唐津亀甲形火入	"	9.0	9.0	5.7	
117	絵唐津八角平向付(五客)	"	3.5	16.5	5.5	
118	絵唐津徳利	"	12.5	4.0	4.9	
119	絵唐津天目茶碗	"	7.2	13.5	5.2	
120	二彩唐津山文大甕	弓野山窯	34.0	29.0	14.0	
121	二彩唐津松文大鉢	"	22.0	61.0	21.5	
122	二彩唐津松文徳利	"	32.0	4.5	10.0	佐賀県立博物館
123	三島唐津櫛刷毛目耳付花瓶	庭木窯	18.7	7.5	9.5	
124	三島唐津櫛刷毛目徳利	"	23.5	4.2	9.5	
125	三島唐津刷毛目象嵌花文皿	小田志窯	7.6	27.6	11.4	
126	三島唐津打刷毛目水指	"	16.3	17.5	10.5	
127	三島唐津二彩象嵌松鶴文大徳利	"	57.5	11.0	18.3	
128	三島唐津茶碗「逢来」	大草野窯	8.6	11.8×13.1	6.1	田中丸コレクション

	● 多久古唐津					
129	絵唐津松梅文皿	多久高麗谷窯		18.0		田中丸コレクション
130	絵唐津草文四方向付	"	5.5	16.0	5.5	
131	絵唐津三星文ぐいのみ	"	5.6	8.8	4.8	
132	絵唐津蓮葉文平茶碗	"	6.0	14.0×16.4	4.7×5.0	
133	黒唐津耳付油壺	大山窯	14.0	1.5	5.5	
134	黒唐津蕪猪口	"	5.5	8.0	4.7	
	● 平戸古唐津					
135	絵唐津皮鯨ぐいのみ	小森谷窯	6.0	8.0×9.0	3.8	
136	絵唐津向付（五客）	小溝山窯	7.0	7.3×8.0	3.6	
137	無地唐津山盃	"	3.7	7.5×8.3	3.3	
138	粉引染付菊水雲文茶碗	木原窯	8.0	11.5×12.5	5.4	
139	唐津茶碗	霞の元窯	8.0	11.5×12.5	5.4	
140	絵唐津片口	"	11.5	16.7×22.5	7.5	
141	絵唐津四方向付	"	5.8	14.0	5.3	
142	絵唐津松文皿	柳の元窯	3.0	13.8×14.5	5.0	
143	唐津小徳利	牛石窯	8.0	3.8	T 6.0	
144	黒唐津沓茶碗	"	7.8	14.3×15.8	5.6	
145	黒唐津三耳付葉茶壺	土師の尾窯	33.0	11.0	T 14.5	
156	無地唐津山盃	清六の辻窯	3.9	8.5	3.7	
	● 陶器から磁器へ					
146	三島唐津染付竹虎文水指	百間窯	15.5	11.9	11.6	
147	三島唐津染付草花文三足香炉	"	8.5	11.0	6.2	
148	唐津茶碗	"	7.2	11.2	4.5	
149	二彩唐津唐草文皿	"	5.0	29.5	10.1	
150	染付樹下仙人図酒注	"	18.0	13.8		
151	染付三角壺	"	23.5	10.8	12.8	
152	染付松竹梅文徳利	"	20.8	4.5	6.5	
153	染付鉄砂梅花水滴	"	4.5		T 3.8×4.2	
154	無地唐津山盃	原明窯	3.7	7.3	3.4	
155	無地唐津輪花形猪口	"	2.5	7.7	T 3.2	
	● 紀念銘のある唐津					
1	天正20年銘入叩き黒唐津耳付茶壺	飯洞甕窯	23.3	10.0	T 10.9	壱岐聖母神社
2	元和4年銘入 絵唐津陶片	川古窯の谷窯	10.5	27.0×36.5	10.7	
3	元和4年銘入 叩き黒唐津壺	大草野窯	38.0	14.5	T 17.5	
	● 唐津の交流					
	● 織部焼					
1	織部洲浜形手鉢		17.7	22.0×24.5		
2	織部葦文水注		17.3	11.3	9.5	
3	黒織部茶碗		6.3×6.7	9.5×14.3	6.2×6.4	
4	織部舟形向付		7.0	10.8×18.0		
5	織部沢渦文手鉢		16.3	19.0×20.0		
6	織部瓢文四方向付（五客）		3.3	15.0		
	● 志野焼					

1	志野秋草文平鉢		5.6	28.5	T 16.3	
2	鼠志野草花文額皿		4.3	19.5×22.5		
3	鼠志野茶碗					
4	志野筒向付（五客）		9.0	6.6	T 5.0	
5	鼠志野革文向付（五客）		5.5	15.4		
6	志野革雁文平鉢		7.5	27.2×27.7		
● 元屋敷窯						
1	織部松文耳付花生	元屋敷窯	29.8	12.0		
2	織部千鳥文筒茶碗 陶片	"				
3	織部千鳥文四方向付陶片	"				
4	織部梅文四方向付 陶片	"				
5	織部草文平向付陶片	"				
6	織部草文向付陶片	"				
7	織部草文向付陶片	"				
8	織部草文向付陶片	"				
9	織部草文約立陶片	"				
10	織部木賊文向付陶片	"				
● 上野						
1	古上野斑白灰釉掛分台鉢		9.5			田中丸コレクション
2	古上野水指「若葉雨」		19.3			田中丸コレクション
3	葵釉雀茶碗「普賢」			13.7		出光美術館
4	葵釉吳器茶碗	釜の口	7.5	10.5	4.7	
5	灰釉割山椒向付		8.0			出光美術館
6	三島手巴文茶入	上野皿山本窯	7.2	2.5	4.0	
7	三島手小徳利	釜の口	10.5	3.5	4.5	
● 高取焼						
1	灰釉彫絵掛花入		21.8			出光美術館
2	灰釉耳付水指		17.0	16.0	T 17.0	
3	灰釉彫文矢筈口水指		19.0	20.0	T 19.0	
4	葵灰釉三足水指		14.5			出光美術館
5	高取建水		7.8	14.5×15.0	T 10.0	
6	素灰釉松形茶碗		7.5	14.0×15.0	6.0	
7	葵釉徳利	宅間窯	24.0	5.0	T 7.5	
8	灰釉壺	内ヶ磯	12.0	11.0	8.0	
9	黒飴釉四耳付茶壺	白旗山	29.0	10.5	T 15.0	
● 近世遺構・海外・沖縄出土の唐津						
● 京都市高速鉄道烏丸線内遺跡 (6)						
1	絵唐津草文四方向付	焼山窯か	6.0	14.0		京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査会 京都市烏丸上立堀る地点45出土
2	絵唐津陶片	道園窯				"
● 平安京六角堂遺跡 (17)						
1	絵唐津筒向付陶片	内田皿屋窯	10.0	8.0×11.8		平安博物館、平安京六角堂遺跡 第4焼土層出土 元和4年(1618)
2	三島唐津象嵌陶片	小田志窯か				"
3	絵唐津鉢陶片	斐屋の谷窯か		12.0		
4	無地唐津茶碗陶片		5.5	10.5		"

5	絵唐津小鉢陶片			3.5	12.5			"
6	絵唐津皿陶片				15.0	5.5		"
7	朝鮮唐津徳利陶片	藤の川内窯						"
8	叩き黒唐津徳利陶片							"
9	三島唐津陶片	小峰窯						"
10	絵唐津胴紐沓茶碗陶片	甕屋の谷窯		7.0	12.0×16.0			"
11	三島唐津型紙刷毛目陶片	川古窯の谷窯				5.0	平安博物館、平安京六角堂遺跡 第5焼土層出土 元和元年（1615）	
● 押小路殿遺跡	(5)							
1	唐津小鉢陶片			3.5	11.0		平安博物館、平安京押小路殿遺跡 出土 元和6年（1620）	
2	唐津茶碗陶片			6.5	11.5	4.5	"	
● 姥柳町遺跡（南畠寺遺跡）	(4)						同志社大学	
1	唐津ぐいのみ陶片			5.0	7.0×7.5		同志社大学校地学術調査委員会 姥柳町遺跡（南畠寺遺跡）出土	
2	唐津ぐいのみ陶片	小森谷窯か		5.8	7.0×8.0		"	
3	唐津片口陶片						"	
4	絵唐津茶碗陶片			6.5	11.0	5.0	"	
● 同志社大学構内遺跡	(22)							
1	唐津叩き壺			21.5	17.0	T 15.7	同志社大学校地学術調査委員会・同志社 大学キャンパス内伏見宮家屋敷跡出土	
2	絵唐津草文四方向付	阿房谷窯		5.0	12.0	4.8	"	
3	絵唐津陶片						同志社大学校地学術調査委員会・同志 社大学キャンバス内二条家屋敷跡出土	
4	黒唐津天目茶碗			7.5	12.2	5.0	"	
5	無地唐津茶碗			7.3	11.5	4.8	"	
6	絵唐津唐草文壺			8.0	8.5	5.0	"	
7	三島唐津陶片						同志社大学校地学術調査委員会・同志 社大学キャンバス内和園寺跡出土	
8	絵唐津草文陶片	小峰窯					"	
9	三島唐津型紙刷毛目陶片	川古窯の谷窯		1.5		9.0	"	
10	無地唐津茶碗			7.5	11.0×12.0	5.3	同志社大学校地学術調査委員会・同志 社大学キャンバス内出土	
11	唐津陶片						"	
12	絵唐津皿陶片						"	
13	無地唐津皿陶片						"	
● 旧大和川河口付近護岸石垣遺構	(6)							
1	無地唐津茶碗陶片						徳川時代大阪城外郭関連石垣遺構調査 団大和川河口付近護岸石垣遺構出土 元和元年（1615）	
2	無地唐津蓋陶片						"	
3	唐津鉢陶片						"	
4	唐津茶碗陶片						"	
5	絵唐津沢文陶片						"	
6	絵唐津陶片						"	
● 難波宮跡	(12)							
1	絵唐津陶片						高速大阪東大阪線難波宮跡調査会・大 阪市東区森の宮西の町M P 8 地点出土	
2	三島唐津陶片						"	
3	無地唐津皿陶片						"	
● 森の宮遺跡	(8)							
1	絵唐津陶片						難波宮址顕彰会 大阪市東区森の宮東之町出土	

2	三島唐津陶片	小 峠 窯 か						
3	無地唐津陶片						"	"
4	無地唐津陶片						"	"
5	無地唐津陶片						"	"
6	無地唐津陶片						"	"
7	絵唐津向付陶片						"	"
8	絵唐津向付陶片						"	"
● 富田川河床遺跡								
1	彫唐津茶碗陶片	飯 洞 豊 窯					島根県立博物館寄託品・島根県富田川 河床遺跡出土 寛文6年(1666)	
2	二彩唐津大鉢陶片	川古窯の谷窯					"	"
3	黒唐津壺	黒牛田窯					"	"
4	絵唐津壺						"	"
5	絵唐津陶片	阿 房 谷 窯					"	"
6	三島唐津陶片	小 峠 窯 か					"	"
7	絵唐津陶片	麿屋の谷窯					"	"
8	絵唐津陶片	市ノ瀬高麗神窯					"	"
9	絵唐津陶片	焼 山 窯					"	"
10	絵唐津陶片	道 園 窯					"	"
11	斑皮鯨四方皿陶片	岸 岳 皿 屋 窯					"	"
12	斑唐津茶碗陶片	帆 柱 窯					"	"
13	無地唐津茶碗陶片	山 瀬 窯					"	"
14	絵唐津陶片	多久高麗谷窯					"	"
15	絵唐津陶片	小 溝 山 窯					"	"
16	斑唐津波線皿陶片	大 川 原 窯					"	"
17	絵唐津陶片	椎 の 峠 窯					"	"
18	朝鮮唐津陶片	藤 の 川 内 窯					"	"
19	唐津陶片	中 の 原 窯					"	"
● 一条谷朝倉氏遺跡								
1	叩き黒唐津花入陶片	岸 岳 系					朝倉氏遺跡調査研究所 福井県朝倉家屋敷跡出土	
2	無地唐津陶片	平 戸 系					"	"
● 福島城跡								
1	絵唐津陶片						上越市教育委員会 新潟県上越市福島城跡出土	
● 加藤忠広屋敷跡								
1	唐津陶片						山形県東田川郡猪引町丸岡 忠広公屋敷跡出土	
● 朝鮮半島関係								
1	会寧出土陶片	(10)					京都国立博物館	
● 海外・沖縄出土の唐津								
1	二彩唐津櫛刷毛目鉢		10.0	28.8	11.0	タイ、アユタヤ出土		
2	三島唐津櫛刷毛目鉢		7.7	29.3	11.2	インドネシア出土		
3	朝鮮唐津徳利		15.4	7.5	T 10.5	沖縄西表島出土		
4	無地唐津徳利	牛 石 窯	15.3	5.0	T 5.2	沖縄本島出土		
5	無地唐津徳利	牛 石 窯	14.0	3.0	5.8	"		
6	絵唐津四方平向付	小 峠 窯	4.7	12.3	4.3	"		
7	黒唐津茶碗		6.0	114×120	4.2	"		

(9) 第28回佐賀県美術展覧会

主 催 佐賀県

佐賀県教育委員会

佐賀県立博物館

会 期 昭和53年11月18日～11月26日

会 場 1・2・3号屋示室、大展示室

観覧料 大人 大・高生 中・小生

個人 200 100 50

団体 150 70 30

(20名以上)



| 展 示 概 況

県内在住者を対象に、日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真、グラフィックデザインの七部門にわたり一般公募を行い、入選作に招待、審査員の作品をあわせて418点を展覧した。9日間に10,702人の観覧者を数えた。

作品搬入・入選・陳列数

	日本画	洋 画	彫 塑	工 芸	書	写 真	グラ フ ィック	計
搬 入	3 5	3 0 3	2 0	1 4 9	1 7 4	1 7 1	1 5 3	1,0 0 5
入 選	2 0	8 3	1 7	7 5	6 1	5 5	5 5	3 6 6
招 待	2	1 5	3	8	3	4	3	3 8
審 査 員 数	1	2	2	2	2	3	2	1 4
陳 列 数	2 3	1 0 0	2 2	8 5	6 6	6 2	6 0	4 1 8

出 品 目 錄

日本画

陣の辻山 井上清次

窯場 内田土生

つつじ 中野澄子

小春日 染川陽子

大樹 鬼崎恭子

陽光(花菖蒲) 棚瀬三津絵

蝶と紅がく 堤綾子

ひまわり 寺戸育子

夕映え 諸田和彦

佐賀新聞社賞 阿蘇米塚 小柳為次郎

片隅 納富 豊

佐賀県教育委員会賞

洲に咲いた花 古川正絞

暮色 納富末由

白い光の中で 松本奈々子

潟 富崎長太郎

石の門(沖縄中城跡) 多久竜太郎

黄昏 西岡一義

コスモスの頃 岸川美和子

県展奨励賞

あざみ 井上瑞江

部屋 服部由紀子

招 待

舞妓 立石春美

“ ”

流心 市丸節子

審査員	紙すき	岩永京吉	サガテレビ賞	行商	末広玲子
洋画			佐賀県知事賞	誕生哀碑	山田直行
	石仏・不動明王	植松国男		月下哀碑	"
	博多の港	日山和秋		石人の歌	毛利武
	曲芸B	真島健児郎		煙突と工場	岡本留男
N H K 賞	夕がおの詩	北原たつよ		貯水タンク	千佳守
	バケツのある風景	こやなぎのぶお		長崎の港	杉町標人
	高原初秋	森谷 宏		庭先の梅	西山正人
	まつりI	山村熊雄		婦人像	原口美津子
	はにわJ	小野久馬	県展奨励賞	食後	金子剛
	楓と母と子	福田 弘		眺望I	草野義種
佳作	水門のある風景	堤 清		仲間はずれ	石橋直美
	秋の花	豊福あさえ		グレーの町並Part II	岩瀬邦子
N B C 賞	はい	廣島 嶽		花	光岡タイ
	となえる	近藤康太		扉	三浦史明
	私達の町	松本聰一郎	県商工会議所連合会賞	めろめろ	大石恵三
	千鴉(B)	稻毛健蔵		風景	大石琢身
	老樹	成清泰男		闇夜の國から	石田博美
	千磯II	多々良清弘		コンポジション	平江潔
	西唐津駅構内(A)	前川廣志		潮干狩B	松岡孟
	花	馬場ツネ	佐賀県造形教育研究会賞	方向	久保博邦
佐賀新聞社賞	冬草風景	古賀五十男	佐賀市長賞	絆	土井智子
	望郷(有明海)	石橋秀美		静物(赤)	坂口敏孝
	山村の発電所	今泉茂樹		有明の詩	藤崎健次郎
	悩み	小田信		青桐	宮崎健朗
	海辺	久富康彦		廃坑	松下四朗
読売新聞社賞	静物	香田茂		憧憬	神辺千賀子
	ふるさとの釣橋	前原宏		青空市	安田憲一郎
	壺	副島良吉		嫁ぐ……	古川晴美
	校庭	笠原恵子		彩	塚本猪一郎
	一眼	坂田三郎		赤いテーブル	小杉英太
	人形のある静物	中村瑞穂		にわとり	横尾秀久
	洋館	古賀美穂		ちぎれた雲	先崎民憲
	婦人像	今村静子		室内	先崎昭洋

鹿島市長賞	舞	野中恵美子	彫塑部	希望	小柳栄次郎
	サルヴァジュニャター	古賀 巧		少女	弟子丸マス子
	チューリップI	納富健二		Aさんの像	岩永智子
	アイビー・スクエア	円田洋子		想ふ	梅崎 誠
	ある日街では(I)	森本規義		M子像	藤川京子
	仮面の告白B	奥野隆之		習作1	川久保正行
	工場の隅I	大島 治	奨励賞	習作2	川久保正行
	牛(A)	宮崎大治郎		K氏	小宮一男
	「アトリエ」にてI)	田中謙一郎		Woman	藤本恵三
	一ぐうI	沢山国光	佳作賞	しおり	藤本恵三
佐賀美賞	休憩B	浦郷正一郎		望洋	古賀 勉
	白石平野I	下平武敏	佐賀新聞社賞	トルソ習作	権藤俊男
	" II "	"		少女の首	権藤俊男
	生きる その2	山口善平		和子	今村重久
	軍鶏	濱野和夫		想	宮崎 甲
	坂道と家並	樋口義明	佐賀県知事賞	K子の首	宮崎 甲
	橋のある風景	山田鈴代		Sの首	原 康博
	少年	深草広平	招待	裸婦小品	緒方敏雄
	麦秋	兵働健吾		"	間
	レティ国公園	菊池義泰		"	裸婦立像
招待	品評会への出番	大久保孝夫	審査賞	踊り子とお客様	上野弘道
	高原の朝	大隈武夫		"	夜襲
	憩	三塙清己	工芸部		成富 宏
	牛とこども	植崎重視	佐賀県陶賞	磁	宮尾正隆
	流砂のミラージュ	森 通		彩釉鉢	小野次郎
	朝の浜	江口 明		初冬	岩崎 正
	読書	山口 勝		佐賀錦 水声	樋口ヨシノ
	視差 №3	光武 洋		佐賀錦三ツ折抱	永田辰子
	侃諧の紋	吉田西縉		バックありあけ	
	孔雀と少女	杉本好守		青白磁花器	村島昭文
審査員	シリーズ 「球体浮遊」より	池田龍雄		鉄釉鉢	野中拓夫
	うずしお	横尾 靖		象嵌深鉢季秋	五十地裕之
	窓外雨季	久富邦夫		凍雪	馬場 悟
	はがくれの里	深川善次		佐賀錦帶ぐたい しゅん待春	嶋田順子

佐賀県議会議長賞	晩秋	片瀬誠二郎	網代	福田英雄
文部大臣奨励賞 (県展賞)	染付丸紋壺	下平隆義	染色樹木	林美砂緒
	乱れ掛壺	中嶋紀文	県展奨励賞	村島磯雄
	染色積	田中隆昭	佐賀新聞社賞	川口武昭
	練り上げ文鉢	庄村健		秋雲
	白磁波文壺	中尾恭純	県展奨励賞	姉川明美
	白磁線彫壺	中尾恭純	佳作	叩き手壺
	染色こびとの視界	長谷川和子		小野竹春
	染色野の花	寺田ミツエ	佳作	徳永武洋
武雄市長賞	型染着物草文	村井ツカ		緑葉
	型染着物花	松森ゆき子		外尾浩尚
	飴釉金沙流輝	鳥井義信	西新日聞社賞	叩き象嵌壺
	土の華	福島清海		金子認
	晩秋(I)	山本律夫		染色秋影
	松絵深鉢	金ヶ江祥晃		吉田恭子
	霜月の壺	大宅利秋		染色夢幻指向
	鉄釉鶴首壺	大串惣次郎		染色木蓮の譜
N H K 賞	ざら波	藤井良明		大庭キミ子
	鉄釉ローヌキ 草文壺 rindrop(雨粒)	井上幸磨		灰釉八角壺
	麻模水面	古賀木見子		熊川栄
	焼〆壺	井樋正弘		紛吹草文壺
	鉄釉大鉢	井樋正弘		化石のカンラン
	佐賀錦ハンドバ ッグさだなみ	青山幸子		大皿親と子
	青白磁花器	中村澄夫	朝日新聞社賞	白磁曲線彫文壺
	青白磁深鉢	中村清見		桟秋正
	青白磁線彫花瓶	堀満男		白磁鶴首
	立磁花器	堀満男		古賀末広
	タピストリー仰	西山ちはる		冬の詩
	白磁花瓶	奥川一俊		東島広義
	象嵌文壺	西川一光		染色薔
唐津市長賞	藍華	坂本義弘		藏染瑞恵
	竜胆	河口純一	招待	尚
	ら線引き丸壺	佐藤芳泉	"	高山春江
				いろは幽
				高橋貴紀
				鉄彩文平鉢
				高石次郎
				佐賀錦葉蔭
				佐賀錦面袋幽
				刷毛目鉢
				長瀬正子
				冬ごもり
				溝上秀次
				人形鶴の巣ごもり
				鶴洋子
				刷毛目青海波文壺
				福田英明
				タイヤ
				石橋紀代文
				縫釉鉢
				二宮達也
				釉裏金釉壺
				小野珀子
				具紋様染錦花生
				辻貞男

"	辰砂壺	中里重利	程明道の詩	三村かほる
"	白磁彫文瓜形壺	井上萬二	恵洪に贈る	古賀諒子
"	青白磁牡丹唐草彫花瓶	樋渡陶六	友人を送る (李白)	古賀利明
"	和紙染粉引手花文陶器	江口勝美	黄庭堅の詩	羽室彩雲
"	叩き朝鮮唐津耳付花生	中里無庵	孟浩然詩	北村昌子
"	木版摺更紗竹文着物	鈴田照次	県展奨励賞	李嘉祐の詩
審査員	染錦深鉢	青木龍山	武雄文化賞	趙頤北詩赤壁
"	有明遠望	小川泰彦	佐賀県文化団体協議会賞	大根容子
書部	和歌一首	中村恵子		白染天の詩
佳作賞	和歌二首	田中君子		山口流芳
	和歌三首	真島美佐子		大阪懐古
西日本新聞社賞	鄭谷詩三首	日高智恵子		片岡大
	石川道雄詩「北海」	音西由美子		鶯鶴聲
	思ひ草	徳永万佐子		富永恒久
佐賀県教育委員会賞	黄山谷詩	山口耕雲		王維の詩
多久市長賞	凜嚴	野中博文		坪上礼子
	杜甫之詩	池田正		西宮秋怨
	木原幸一・默示	北島正夫		山口和子
	百人一首十一首	戸上綾子		和歌三首
	王士正の詩	井石光乃		平山俊子
	唐詩・王勃の詩	小川直	鳥栖市長賞	青壁
	和歌一首	勝山日出子		鳥越出雲
	登標渺峯	永代綾子		人和為楽
	吳偉業詩			川打恒子
	八木重吉詩	角田隆宣		関戸本古今集臨
	高青邱詩	林禎史郎		高田英子
	無題	村上桂秀		以和為貴
	朝霧	松永豊治		玉置紫江
毎日新聞社賞	和歌二首	栗原原枝		韋應物之詩
	蘇東坡の詩	山口三郎		峯平
	吳昌碩画贊	橋爪サチ子		婺州竹枝詩
	唐詩	相川のり子		吉村キヨ子
			佐賀県書作会賞	温慈恵和
				寺田東
				在廣間催馬二
				御史竝登相臺蘇味道
				三浦房子
				篆刻
				野中瑛碩
				七言古詩
				萩原彦次郎
				飲中八仙歌
				萬葉の歌
				南里石洲
				雲棲澗飲
				山口政人
				魯迅詩「無題」
				江口俊子
				心月
				森田実枝子
				五言詩
				岡本子薰
				煮(にる)
				横田景秀
				滔滔孟夏
				陣広雲
				漣(さざなみ)
				松尾恵子
				濫觴(らんしょう)
				米倉信義
				暁月(ぎょうげつ)
				渡辺晃
			サガテレビ賞	

	露(つゆ)	寺田蒼玄		開を切る	内川正春
	研(みがく)	馬場玄龍		小さな踊り子	内田貞巳
	甦(よみがえる)	池田太玄		インディアン	下村治道
佐賀新聞社賞	萩(はぎ)	吉田香陽		6 P・M・嘉瀬	江口孝幸
	秋日東郊作	谷口紫鳳		笹	嘉村 進
招待	望廬山瀑布	太田香雲		港	原田千秋
"	黄庭堅詩	山口流水		首	塚本達彦
"	戴復古の詩	野中正陽		BUILDING I	山口一郎
審査員	鄭絪詩	土肥春嶽		回帰	秀島邦彦
"	我人	山内 観		秋	用松 勝
写真部					
佐賀県教育委員会賞	男の対話(1)	久保光男		ミサの窓から	金澤国幸
"	" (2)	"		棚田	松尾栄蔵
佐賀県議会長賞	今日・明日	鷺崎哲雄		樹 I	西村里司
N H K 賞	道化師	下村治道		転生考 I	松尾龍次
佐賀新聞社賞	おそい夏	井上俊正		光陰	小松 崇
日本経済新聞社賞	早晩	石崎政秋		抱える石人	"
読売新聞社賞	静躁	雪竹 智		庵居	小松正博
伊万里市長賞	黎明	古川 實		K子	平原道尋
県展奨励賞	霧の山湖	小川昭清		孤愁(2)	高口秋男
県展奨励賞	憂愁—24時	井上博之		早春の海	藤川英一郎
佳 作	馬(連作)	西村常宣		静日	大塚 稔
佳 作	落日の詩	佐藤孝幸		中国の子供達 II	宮崎泰茂
佳 作	孤愁(1)	高口秋男		休日	坂口政昭
	紅葉	吉末泰弘		早晩	江副憲二
	バーバリーシープ	大坪 晃		文楽	北古賀正昭
	綱	西森秀夫		つぼみ	山口五男
	クロスベット	塩谷直人		落日の詩 II	中島一生
	白い歳	武富辰彦		I N S I D E ...	田中佳登
	今宿の精霊流し	深山育三郎		むつごろ	松本正弘
	霧の馬	吉野策夫		1978年8月	佐々木勝吉
	大地	竹下正紀		ヨシキリのうた	木塚行夫
	舞	中原武義	招 待	牛	平方寛九郎
	小さな軽業師	牧野内恒男	"	荒天の岬	宮崎 宏
				灯のある部屋	古川公夫

	染める	中島 実	小型グラフィック カレンダのためのイラスト試作	橋口 正浩
"	粧い	最所 巍	有事立法 1	池の上順子
審査員	無題	今井 滋	13人の殺人者	山脇好博
"		滝田功男	貯蓄「小さな努力でしあわせを」	蒲原和子
"	雲によせて	音成三男	セールスマンの死	岸川正道
グラフィックデザイン				
	不確実性の時代 No.1	納富 司	野鳥保護	荒木拓一
佳作	" No.2 "		日本の玩具 シリーズけん玉	佐々木正視
	いらすとてん I	与賀田 博	ゲシュタルト 心理学 2	馬場栄之介
	Gentleman	前田 清	マグニチュード X	井内 孝
県商工会議 所連合会賞	書籍ポスターの 冒険	田代典子	社会的不安 A	鳥越義則
	書籍ポスター 白鳥はどこへ いったの	"	DOOR EPISOCE	伊藤文雄
	面浮立	筒井清貴	Hitomis world 2	坂口一美
県展奨励賞	INTERNATIONAL MUSIC FESTIVAL No.1	山川 浩	佳作	memory (冬影)
	" No.2 "			満武真由美
	EXPLOIT NATURAL RESOURCES	副島久洋	ハウス栽培を 考える No.1	平井三和子
	スーパープロバスケット トボール	富永慎二	" No.2 "	"
	レコード ジャケット	池田伊知郎	ヒットラーの悪夢	水町健二
	観光ポスター くんち・からつひきやま	藤崎正文	天までとどけ	中村順子
	観光ポスター くんち・いまりとんてんとん	"	佐賀県知事賞	かっぱのすもうとり
	NO SMOKING	津坂清隆	佐賀新聞社賞	公開シンポジウム 筑後川大堰問題
佐賀県議 会議長賞	動物園ZOO(ポスター)	永尾康彦		唐津山笠
	書籍ポスター 星の切符	森セツ子	日本経済 新聞社賞	一滴価千金水を 大切に No.1
	ポスター ミュージシャン	竹谷久美子		" No.2 "
	子供の世界展 ポスター 1	田中貴子	県貯蓄推進 委員会賞	貯蓄ポスター
	ブックカバー(1)	石橋英子		渡島俊治
	レコード ジャケット	大宅治子		水のない川
	書籍ポスター エコノミスト 1	池上浩子		歌舞伎の世界 一五三郎
	カレンダー	田中優子		脱出不可能時代
	小型グラフィック レコード ジャケット試作	永尾英樹	招待	IN TIMEZON
	書籍ポスター 未完の告白	笠原みよ子		ようこのうた
県展奨励賞	書籍ポスター 青い鳥	川口裕美		藤原ひろみ
N B C 賞	KISS コンサート・ポスター	山上裕司	審査員	パターンデザイン
				書籍ポスター かたちへの情炎
				構成78—III
				宮木英幸
				たばこ落し
				西島伊三雄
				藤重信

(10) 佐賀県高等学校書道展

主 催 佐賀県高等学校書道教育研究会、佐賀県立博物館

会 期 昭和53年11月30日～12月5日

会 場 大展示室

観 覧 料 無 料

出 品 概 況

出品点数 173点

受 賞 佐賀県知事賞 1、佐賀県議会議長賞 1、佐賀県教育委員会賞 1、佐賀市長賞 1

佐賀県文化団体協議会賞 1、佐賀県書道教育連盟賞 2、佐賀県高等学校書道教育研究会賞 3、新人賞 2、特選 20、秀作 30、

(11) 第19回佐賀県学童美術展覧会

主 催 佐賀県造形教育研究会、佐賀県立博物館

後 援 佐賀県教育委員会

会 期 昭和53年12月8日～12月12日

会 場 大展示室

観 覧 料 無 料

展 示 概 況

県下の小・中学校の美術振興を目的とし、絵画、版画、クロッキー、彫塑、デザイン、工作（工芸）作品を募集し、特選の中から約360点を展示した。5日間に2,953人の観覧者を数えた。

(12) 第28回佐賀県高等学校美術展覧会

主 催 佐賀県造形教育研究会高等学校部会、佐賀県高等学校美術連盟、佐賀県立博物館

後 援 佐賀県教育委員会

会 期 昭和53年12月15日～12月20日

会 場 大展示室

観 覧 料 無 料

展 示 概 況

県下の高等学校の美術振興を目的とし、企画されたもので、各高等学校より、絵画、彫塑、デザイン、工芸その他美術教科に関するものが募集され、162点を展示した。6日間に749人の観覧者を数えた。

出 品 点 数 162点

参 加 校 28校

佐賀県高等学校美術連盟賞 1点、佐賀県造形教育研究会賞 1点、特選 8点、奨励賞 38点、

入選 114点

(13) 第8回九州グラフィックデザイン展

主 催 九州文化協会、九州グラフィックデザイン協会、九州沖縄各県、九州沖縄各県教育委員会

後 援 文化庁

会 期 昭和54年1月21日～1月25日

会 場 大展示室

観覧料 無 料

展示概況

この展覧会はデザイナーの登龍門となっており、グラフィックデザイン界の発展に寄与することを目的としている。現在第一線で活躍するグラフィックデザイナーの作品と一般応募作品あわせて153点を展示了。5日間に707人の観覧者を数えた。

(14) 書初展

主 催 佐賀県書道教育連盟、佐賀県立博物館

会 期 昭和54年1月27日～1月31日

会 場 大展示室

出品概況

出品点数 4,250点

受 賞 佐賀県知事賞 3、佐賀県教育委員会賞 10、佐賀県立博物館賞 10、佐賀県文化団

体協議会賞 10、佐賀県書道教育連盟賞 10、佐賀県共済組合連合会賞 10

特選 1割、秀作 1.5割、佳作 3割、入選 全作品

(15) 勤労者美術展

主 催 佐賀県、佐賀県立博物館

後 援 佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀労働者福祉協議会

会 期 昭和54年2月4日～2月8日

会 場 大展示室

観覧料 無 料

展示概況

勤労生活の中から創作された作品を展示し、勤労者の芸術意欲の高揚をはかるとともに、文化的教養の向上と余暇利用の健全化を目的とした展覧会であり、各部門とも出品点数は減少したが、質的には向上が見られた。

出品点数 絵画 42点、写真 63点、書 30点、工芸 12点、計 147点

(16) 佐賀大学卒業制作展

主 催 佐賀大学教育学部、佐賀県立博物館

会 期 昭和54年2月20日～2月23日

会 場 大展示室

観覧料 無 料

展示概況

佐賀大学美術・工芸科の昭和54年度卒業生の作品（日本画、洋画、彫刻、デザイン、窯芸、染織、金工）57点を展覧した。

(17) 地下の遺宝展 一解明されてゆく郷土の歴史一

主 催 佐賀県教育委員会

佐賀県立博物館

会 期 昭和54年3月3日～3月25日

会 場 3号展示室・大展示室

観覧料 大人 大・高生 中・小生

個人 100 50 30

団体 80 30 20

団体は20名以上

図録 地下の遺宝

一解明されてゆく郷土の歴史一

153頁 頒価 1,000円

講演会会場 大展示室

日 時 3月10日

講 師 北九州市立歴史博物館 主幹 小田富士雄氏

演題 「発掘調査の成果と課題」

展示概況

佐賀県教育委員会をはじめ県内市町村教育委員会や研究者の協力を得て、昭和50年から昭和53年までに調査発見された原始・古代・中世・近世にいる資料を時代別・遺跡別に展示して県民に紹介し、郷土の歴史と文化の理解と文化財に対する認識を深めた。出品点数約2,000点

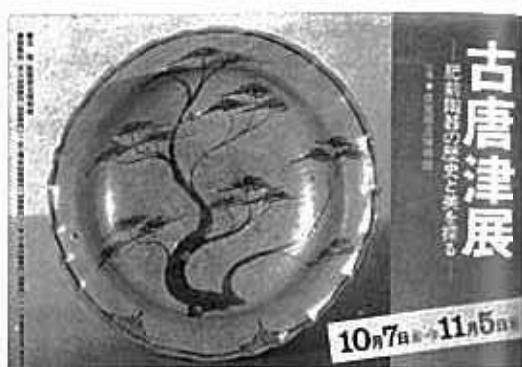
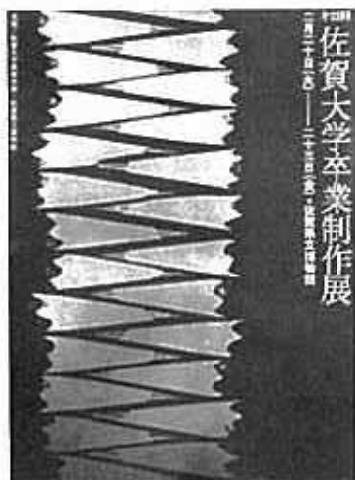
出陳遺跡と主たる資料

時 代	番 号	遺 跡	所 在 地	主 な 展 示 資 料
旧石器時代	1	生石	肥前町大浦字生石	ナイフ形石器・細石刃・台形石器・彫器・細石核
	2	茶園原	多久市多久町字西畠茶園	尖頭器・疊核・剥片
縄文時代	1	百田洞穴	肥前町瓜ガ坂字百田	石鎌・尖頭器・石匙・土器片
	2	中野	鎮西町中野字出口	晩期土器・すり石・石皿・石鎌・石斧・その他 弥生時代前朝土器片



	3 4 5 6	牟田辻 佐織 丸山 大門西	唐津市枝去木字矢倉 三日月町佐織 佐賀市久保泉町大字川久保 字西原 佐賀市金立町大字金立字十 一本杉	埋形文土器・条痕文土器・石棺・石匙・石鐵・ 石斧・すり石 晩期壺棺・甕棺 晩期壺・甕・鉢・石鐵・石斧・木の実 壺・甕・高坏
弥生時代	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	千塔山 大久保 長の原 天神 立物 町南 二塚山 野田一本杉 川寄吉原 寺浦(弥生) 牟田辻 柏崎 池ノ上 惣座 土生 下久米 六本黒木 城ノ上	基山町大字宮ノ浦字宿 鳥栖市袖比字大久保 鳥栖市永吉町字長の原 中原町大字原古賀字天神 三日月町立物 中原町大字原古賀字町南 東背振村・上峰村 神埼町大字竹字野田一本杉 神埼町大字竹字川寄吉原 小城町寺浦 多久市南多久町大字下多久 唐津市柏崎大深田 大和町大字池ノ上 大和町大字久池井 三日月町大字久米土生 三日月町下久米 佐賀市金立町大字金立字六 木黒木 基山町大字小倉字城ノ上	青銅鋤先・土器各種 甕棺・祭祀用具類 紡錘車・石斧・石庖丁・石劍・石鐵・投弾・砥石 小形彷製鏡 仿製鏡 各種土器・石器・鏡・鉄鏡・ガラス小玉 鏡・鋤・玉類・各種土器 木製鋤・杓子・石庖丁・投弾 木製鍬・石庖丁・壺・甕・銅鐸形土製品 甕・高坏・鉢・器台 高坏・器台・管玉・石庖丁・紡錘車・石斧 甕・鉢・高坏・石劍・石鐵・石庖丁・紡錘車・ 土鍬・銅鑄鉋型・小玉 鏡片 土器各種・鉄斧・鉄鐵・石庖丁 甕・壺・鉢・高坏・器台・紡錘車・投弾・鍬・杓子 甕棺・壺・高坏・石劍・銅劍・石庖丁 甕棺 壺・鉢・器台・高坏・鉄鎌・鉄斧・石庖丁
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	千塔山古墳群 梅坂 潮見古墳 矢ノ浦 下久米方形周溝墓 戊方形周溝墓 石木 丸山古墳 六本黒木古墳 藤付 金立開拓 大門西 牟田部	基山町大字宮ノ浦字宿 鳥栖市今町梅坂 武雄市武雄町潮見 武雄市武雄町大字永島字矢 ノ浦 三日月町下久米 三日月町長神田字戊 三日月町大字石木 佐賀市久保泉町字川久保字 西原 佐賀市金立町大字金立字六 木黒木 佐賀市久保泉町字川久保字 西原 佐賀市金立町大字金立字島崎 佐賀市金立町大字金立字十 一本杉 多久市南多久町大字下多久	刀・劍・刀子・勾玉・管玉・小玉・鉄斧・紡錘 董・須恵器・土師器 炭化米・鉄鎌・土師器・須恵器・紡錘車 金銅製馬具・鉄劍・刀・刀子・鉢・斧・鎗鉋・ 須恵器 六獸鏡 長頸壺・坏・器台・壺 甕・壺・鉢・高坏・手捏土器 須恵器各種・土師器各種・祭祀用土器・石器・ 木製鞍 鉄劍・刀子・鉢・鎗鉋・鎌・劍・勾玉・管玉・小玉 須恵器壞・坏 土師壺・耳環・玉 須恵器各種 須恵器・土師器壺・坏・壺 管玉・小玉・耳環・馬具片・鉄鎌・須恵器
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	基辯城跡 靈仙寺跡 野田五本松 牧古窯跡 矢ノ浦 肥前國府跡 肥前国分寺跡 戊 久米 石木 大和中納言陣跡 下中村 大川内山鍋島窯跡 柿右衛門窯跡 不動山皿屋谷1・2 号窯跡	基山町大字小倉 東背振村城 神埼町大字竹 北方町大字大崎字牧 武雄市武雄町大字永島字矢 ノ浦 大和町久池井 大和町大字尼寺字真島 三日月町 三日月町久米 三日月町大字石木 鎮西町大字名護屋 三田川町下中村 伊万里市大川内町字二木柳 有田町南川原 嬉野町大字不動山皿屋谷	土師器甕・壺・高坏・皿・須恵器坏・高坏・軒 丸瓦・軒平瓦 陶製経筒・和鏡・瓦絆・石仏・骨蔵器 土師器・黒色土器・青白磁碗・鎌 須恵器系坏・皿・碗・鉢・壺・甕 陶製経筒・小壺・碗・刀子 軒丸瓦・軒平瓦・綠釉陶器片・灰釉陶器片 青・白磁・軒丸瓦・軒平瓦 土師碗・皿・青磁碗・銅錢・坏・壺・硯・鉄滓 青磁碗・白磁碗 土師杯・壺・瓶 軒丸瓦・軒平瓦・陶器 越州窯陶磁片・箸・鞍・横槌 青磁及び白磁の皿・小坏・碗・向付・瓶・鉢・ 壺・香炉 青磁・白磁・染付・色絵 青磁・染付

昭和 53 年度企画展ポスター



1. 昭和53年度観覧者総数

A. 常設展

	個	人	団	人	大・高	中・高	大人	大人	大・高	中・小	大人	大人	大・高	中・高	中・小	大人	大人	大・高	中・高	中・小	大人	大人	大・高	中・高	中・小	招待者	招待者	合計	借館日数	一日平均	期間	備考
佐賀県の歴史と文化展(前期)	2,339	429	2,204	85	20	195	403	193	1,983	164	138	8,153	128	63	5/3~10/1																	
〃(後期)	1,395	231	1,043	177	0	52	16	269	96	28	4,038	94	43	12/3~3/31																		
計	3,734	660	2,936	1,128	197	195	455	209	2,252	260	166	12,192	222	55																		

B. 企画展

	個	人	団	体	體	観覧料	免除	招待者	招待者	合計	借館日数	一日平均	期間	備考																			
日　辰	大人	大・高	中・高	大人	大・高	中・高	大人	大人	大・高	中・小	大人	大人	大・高	中・高	中・小	3,253		38,945	23	1,693	4/1~4/23												
科学档案ナード・ビンチ展	2,111	928	1,622	13	657	1,194					650	48	7,223	22	328	5/3~5/24																	
佐賀美術橋協会展	1,332	795	546										2,673	11	243	6/15~6/25																	
七夕書道展	734	71	981										1,786	6	298	8/1~8/6																	
第3回佐賀県作家協会展	534	90	118								17		759	6	127	8/8~8/13																	
九州現代工艺芸伎展	736	137	222										1,035	9	121	8/19~8/27																	
第28回佐賀市児童生徒作品展	485	36	1,078										1,599	5	320	9/14~9/18																	
第28回佐賀県古店舗展	"	1,055	55	2,790									3,900	7	557	9/19~9/25																	
古　店　舗　展	7,196	250	387	1,359	150	138					1,567		106	11,163	30	372	10/7~11/5																
第28回佐賀県美術展	4,622	842	1,069	677	1,658	1,203					631		10,702	9	1,189	11/18~11/26																	
佐賀県高等学校美術展	476	289	44										809	6	135	11/30~12/5																	
佐賀県学童美術展	1,119	33	1,801										2,953	5	590	12/8~12/12																	
佐賀県高等学校美術展	241	449	59										749	6	125	12/15~12/20																	
九州グラフィックデザイン展	283	313	111										707	5	141	1/21~1/25																	
古　切　展	844	21	733										1,558	5	319	1/27~1/31																	
勤労者美術展	765	40	97										902	5	180	2/4~2/8																	
佐賀大学卒業制作展	274	316	17										607	4	151	2/20~2/23																	
地下下の遺宝展	1,597	366	699	82		474	23				643	19	3,933	23	171	3/3~3/25																	
計	45,559	13,424	18,548	2,141	2,465	3,009	23	0	0	6,761	173	92,103	187	492																			
A　・　B　合　計	49,293	14,034	21,484	3,289	2,662	3,204	478	209	2,252	7,021	339	104,295	409	255																			
一　日　平　均	120	14	52	8	6	7	1		5	17			255																				
第10回独立C.S展	299	121	107										527	6	88	7/22~7/27																	

4. 普及活動

(1) 資料の刊行

・博物館報

館報は従来 8 頁、年 6 回全48頁発行していたが53年度は内容の都合で発行回数を 4 回全48頁とした。配布先は県内教育機関、社会教育団体及び主な博物館等で、館の利用促進に活用している。

印刷部数 1回 1,000部

形態 №40号（レオナルド・ダ・ビンチ展特集）B5版 アート紙 16頁

№41号（肥前国産物図考特集） B5版 アート紙 16頁

№42号（古唐津展特集） B5版 アート紙 8頁

№43号（地下の遺宝展特集） B5版 アート紙 8頁

・年報

53年度は第 8 号を発行し、昭和52年度の博物館の管理運営、事業、資料の概況、茶室の利用概況について報告した。

印刷部数 1,000部

形態 B5版 アート紙 82頁

・「古唐津展」図録

この図録は昭和53年10月 7 日から11月 5 日まで開催した「古唐津展」に伴なって刊行したもので、カラー写真16枚、モノクロ写真約 370 枚を含め 200 頁。

印刷部数 3,500部

形態 B5版 アート紙

内容 カラー 8頁

種類と名称 16頁

唐津の名陶 14頁

唐津の源流 10頁

唐津の古窯 84頁

紀年銘のある唐津 2頁

近世遺構・海外・沖縄出土の唐津 22頁

唐津の交流 16頁

論稿 8頁

参考資料 27頁

・「地下の遺宝展」図録

この図録は昭和54年 3 月 3 日から 3 月 25 日まで開催した「地下の遺宝展」に伴なって刊行したものでモノクロ写真約 500 枚を含め 153 頁。出品資料を時代別、遺跡別に分類し各時代、各遺跡の解説を

付して掲載している。

印刷部数 1,500部

形 態 B5版 アート紙

内 容 旧石器・縄文時代 22頁

弥生時代 46頁

古墳時代 30頁

歴史時代 42頁

出品目録 2頁

関係年表 4頁

年度別調査遺跡名 5頁

(2) 博物館研究講座

本年度は「古唐津展」「地下の遺宝展」の開催中に記念講演会を開催した。



期 日	演 題	講 師	参 加 者 数
10月 14日	唐津の歴史と技法	陶芸家 中里太郎右衛門氏	182人
10月 28日	古唐津の美をもとめて	佐賀女子短期大学教授 永 竹 威 氏	252人
3月 10日	発掘調査の成果と課題	北九州市立歴史博物館主幹 小田富士雄氏	120人
計			554人

(3) 移動博物館

本年度は11月3日から5日まで厳木町公民館で実施した。

展示品は自然史、考古資料約200点を展示した。なお厳木町の第2回町民文化展と併設され大変好評であった。



会 期	会 場 名	期 間	観 察 者 数
昭 53. 11. 3～11. 5	厳木町公民館	3 日 間	950 人

5. 発掘調査

百田洞穴遺跡第2次発掘調査 一東松浦郡肥前町瓜が坂所在一

百田洞穴遺跡は、上場台地の西側の伊万里湾に面する標高約40mの地点に位置し、南にむかって開口している。昭和52年8月に近接する玄蕃岩洞穴遺跡と共に発見されたものである。

当館では開館以来、佐賀県における旧石器時代から縄文時代への編年の確立を求めて、各種遺跡の発掘調査を実施し、昭和52年3月には東松浦半島に所在する洞穴の分布調査を行ない、12ヵ所の洞穴を確認することができた。そこで、これら東松浦半島で確認された洞穴の発掘調査を実施することにより、出土遺物と層位との関連性を明らかにするとともに、他の洞穴遺跡との比較検討を行ない、本県における旧石器時代から縄文時代への移行期における文化の究明と、大陸や朝鮮半島に近接するという地理的条件から交流の解明をも試みることを目的とした。

第2次発掘調査は、昭和52年12月の第1次発掘調査と同様に当館と肥前町教育委員会の共催のもと、県教育庁文化課と地元瓜が坂地区の協力を得て、昭和53年11月16日から11月25日までの10日間実施した。

発掘調査は、第1次発掘調査で判明した遺物包含層の確実な洞穴の東側と前庭部に主体を置き、D・E各トレンチ（試掘溝）の拡張とEトレンチの北側にFトレンチを設定し、各時代の地層と出土する遺物の関連性をその主目的とした。その結果、9期の文化層を確認することができ、最深層部では縄文時代早期（BP8000年）に編年されている磨製石鎌や尖頭状石器を出土しており、当洞穴遺跡の使用開始の時期が判明した。さらに、不定形石核や刃器・石匙・石錐・磨石・剥片鎌等が出土しており、これら各種石器に比較し土器の出土は少なく、時代を判明するような土器は出土していない。一方、多くの各種石器の出土状況から、各層における石器組成の状況が判明し、その状況の中でも狩猟用に使用した各種石鎌が大半を占めており、当遺跡の大きな特色を示している。また、当遺跡の特色のひとつに、石器の素材として黒曜石が使用されており、近接する多くの遺跡でも同一の素材を使用している。この黒曜石の原石は伊万里市の腰岳産のものを使用しており、伊万里湾に面する当地とその奥部にある腰岳との交流を知ることができ、その通路として伊万里湾の海路をも推定できる。

このように、昭和52年度の第1次発掘調査と昭和53年度の第2次発掘調査の遺物の出土状況から、この洞穴遺跡は長期の住居として使用されたものではなく、狩猟時における一時的な仮の住居として使用されたことが推定できる。

この種の洞穴遺跡として、西有田町の国見山中に位置する盗人岩洞穴遺跡が対象となろう。



百田洞穴遺跡の所在地

資料の概況

1. 昭和52年度末資料の概況

資料は大別して自然史資料、考古資料、歴史資料、美術工芸資料および民俗資料に分類しているが、その概要はつきのとおりである。

資料 約41,000点

自然史資料 約4,800点

佐賀県地形模型（25,000分の1）

佐賀市街地図（2500分の1）

唐津市街地図（2500分の1）

恐龍（タイラノザウルス）の生態模型（2分の1）（国立科学博物館から寄贈）

原生代（コレニヤ）化石

古生代（パラフズリナ・シダ）化石

中生代（魚類・アンモナイト）化石

新生代（メタセコイヤ・シキシマバス・二枚貝・サメ・ヨコヤマオウムガイ）の各種化石

研磨した佐賀県の岩石標本（球状閃緑岩、石英、安山岩他5点）

天然記念物エヒメアヤメの生態模型

佐賀県のチョウ類標本

佐賀県のトンボ類標本

佐賀県の甲虫類標本

佐賀県の野鳥標本

オオフウチョウ・コフウチョウ剥製標本（国立科学博物館から寄贈）

天然記念物カササギの生態資料

・生態模式パネル

・生態写真

有明海・玄海の魚貝類標本

カブトガニの発生順序

有明海の干潟と生物の模型

・干潟の状態

・ムツゴロウ・ワラスボ・シャミセンガイ・アゲマキ・シオマネギ等

蛇紋岩の岩石標本

石英塊の岩石標本

角せんはんれい岩の岩石標本
讃岐岩の岩石標本
玄武岩質集塊岩の岩石標本
火山弾（竹崎海底火山、約1トン）
紫水晶大型標本（約120キロ）（ブラジル国佐賀県人会から寄贈）

考古資料 約18,600点

・先土器時代

尖頭器（杵島郡鬼の鼻山、多久市三年山・同茶園原遺跡出土）

細石器（馬渡島切立遺跡出土、伊万里市白蛇山岩陰遺跡出土）

・縄文時代

石器・土器（西有田町盜人岩洞穴出土、白蛇山岩陰遺跡出土）

西有田町坂の下遺跡出土の石器・土器・木器・編み籠の一部・木の実から発芽したアラガシの幼木・百田洞穴遺跡出土の土器・石器

・弥生時代

三日月町土生遺跡出土の石器・土器・木器・炭化米・木の実

呼子町大友遺跡出土のカメ棺・装身具・伸展葬と屈葬人骨

唐津市桜馬場出土の鏡・銅釧・巴型銅器ほか（重要文化財）

北方町東宮裾・樺島山遺跡出土遺物の一括遺物

県内出土の各種銅鏡・銅劍・銅戈等

上峰村切通・唐津市葉山尻・神崎町八子遺跡等出土のカメ棺

・古墳時代

佐賀市熊本山出土の舟型石棺ならびに副葬品（県重要文化財）

県内出土の各種武器武具・農耕用具

基山町伊勢山遺跡出土の祭祀遺物

北方町永池古墳の線刻文様（人物）

鳥栖市田代太田古墳（史跡）の模型および同古墳の壁画模写図・同復原図

関行丸古墳出土品（県重要文化財）

歴史資料 約1,200点

基肄城跡（特別史跡）出土瓦・国分寺跡出土瓦および同寺瓦窯跡出土瓦など

県内出土の蔵骨器・在銘経筒

木造聖観音立像（重要文化財模造）

木造天部立像

木造如来坐像
木造円鑑禪師坐像（重要文化財）
楊柳觀音図像（重要文化財）
阿弥陀八大菩薩図像
善財童子歎參図像
釈迦三尊比丘図像
八字文珠菩薩騎獅図像（県重要文化財）
水上懸仏（県重要文化財）
今山合戦関係資料
豊臣秀吉の朱印状ほか文禄慶長の役関係資料
肥前名護屋城図屏風、朝鮮國禮曹の通諭文
島原の乱関係資料
藩政時代絵図および文教資料
佐賀藩精煉方関係資料
佐賀藩精煉方製造蒸気車籠形（鉄道記念物）同蒸気船籠形
石造物（観音像・地蔵像・五輪塔・板碑・六地蔵・三重塔・名護屋城旗竿石など）
パリ一萬国博覧会（慶應3年）参加関係資料
戊辰の役、佐賀の乱関係資料
郷土の先覚者の書・画等
佐賀藩鋳造鉄製24ポンド砲（復元）

美術工芸資料 約16,100点（陶片を含む）

・書 跡

副島蒼海・中林梧竹・西川春洞・大坪終軒の書

・絵 画

洛中洛外図屏風

長沢 芦雪（唐獅子図）

伊藤 若冲（鶏図）他近世絵画資料

伝高橋由一（鮓）

百武 兼行（イタリア風景・マンドリンをもつ少女・老婦人像）

久米桂一郎（フランス風景・りんご拾い・加茂川の新緑・ゼーヴル橋畔）

小代 為重（久米桂一郎肖像・少女・チームズ河畔）

岡田三郎助（花野・バラ・婦人半身像・西洋婦人像・少年）

藤島 武二（裸婦・婦人像）

青木 繁（ランプ・男の像・神話・夕焼の海・佐賀風景・浴女・かるた5・木下大尉の肖像・絵葉書・書・織月帰舟）

高木背水・北島浅一・御厨純一・武藤辰平・山口亮一・池田幸太郎・納富 進ほか本県関係の代表的画家の作品

◦ 刀剣その他

肥前忠吉初代・2代・3代・6代・7代・9代（刀・短刀・槍先）およびその他の肥前刀匠の作品・小道具・鎧・火なわ式銃・大筒

◦ 陶磁器

古唐津系（茶碗・皿・鉢・大鉢・水指・徳利・花瓶・大壺）

初期伊万里系（茶碗・皿・徳利）

古伊万里系（VOC商標入皿・鉢・水指・徳利・角瓶・婦人像）

柿右衛門系（深鉢・徳利・壺・陶板）

鍋島藩窯系（皿・大皿・青磁花器）

県内の古窯跡出土の陶磁器片（各種）

◦ 染 織

鍋島更紗・鍋島段通・佐賀錦

民俗資料 約800点

有明海の漁撈具（重要民俗資料）・玄海の捕鯨用具一式

田代製糞関係資料

製蠅関係資料

採炭用具一式

石造物

三谷和紙製作用具一式

鷄銃一式

2. 昭和53年度購入資料

① 自然史資料

資 料 名	規 格	数 量	備 考
化 石 ヨコヤマオウムガイ	42×42×14cm	1	産地、東松浦郡北波多村稗田鮎返 地層、新生代第三紀 行合野砂岩層 重量、20kg

② 考古資料

資 料 名	数 量	規 格
把 頭 飾	1	最大長 5.7 cm 最大幅 4.8 cm 弥生時代

石 剑	1	現 長 13.4 cm	弥生時代
連弧文鏡（片）	1	復原径 15.4 cm	弥生時代

③ 歴史資料

資 料 名	数 量	規 格
長崎港警備図屏風 (長崎御当番之図、宝永2年)	1 隻	6曲 紙本著色 117.0×326.0
古賀精里二字書屏風	1 双	4曲 紙本墨書 各扇 123.0×72.0

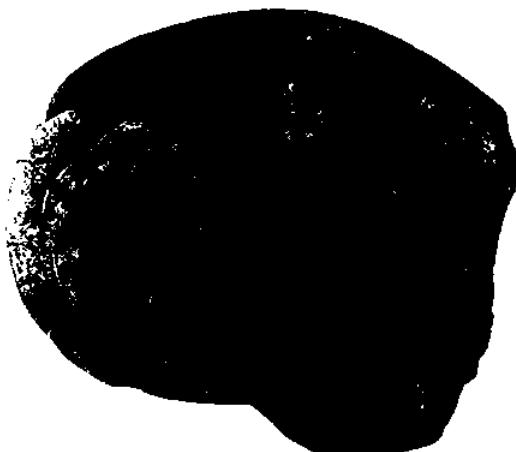
④ 美術資料

資 料 名	作 者	数 量	規 格
婦人半身像	岡田三郎助	1	紙、パステル 62.0×47.5
少 年	岡田三郎助	1	油彩、画布 41.0×32.0
西洋婦人像	岡田三郎助	1	油彩、画布 45.4×37.9
觀桜図屏風	筆者不詳	1	紙本金地着彩 6曲1双各 108.0×265.0
四季孔雀図屏風	狩野高信	1	紙本金地着彩 6曲1双各 151.5×345.6
新 雪 (富士)	松本弘二	1	油彩、画布 91.0×116.7

⑤ 資料図書

書 名	著 者 名	数 量	発 行 所
御物聚成	宮内庁侍従職	1	朝日新聞社
和 鏡	保坂三郎	1	(株) 人文書院

購 入 資 料



ヨコヤマオウムガイ



連弧文鏡（片）・弥生時代



石劍・把頭飾 弥生時代



古賀精里 二字書屏風



古賀精里 二字書屏風



長崎港警備圖屏風



婦人半身像（下絵）・岡田三郎助



少年・岡田三郎助



西洋婦人像・岡田三郎助



新雪・松本弘二

3. 昭和53年度寄贈資料

① 自然史資料

資 料 名	数 量	規 格	寄 贈 者
磁石式 交換機	1	伊万里市南波多局使用 (電話自動交換ダイヤル化に伴い)	佐賀電気通信部長 三石庄一郎 54.2.14受入
磁石式 電話機A	2	伊万里市南波多局内ハンドル式	"
磁石式 電話機B	2	"	"

② 歴史資料

資 料 名	数 量	規 格	寄 贈 者
大阪城石垣刻印拓本	2	和紙 134.5×69.0	大阪市旭区千林1丁目4-6 武内勇吉
竜造寺の伝系図	1	和紙 29.0×253.0	佐賀市中の小路 高取 綾

③ 美術資料

資 料 名	作 者	数 量	規 格	寄 贈 者
裸婦立像	岡田三郎助	1	紙、木炭 42.0×29.0	東京都 田村一男
坐裸婦	"	1	紙、コンテ 60.0×44.0	"
岩越国境	"	2	紙、鉛筆 各 10.5×16.5	"
教会	"	1	エッチング 15.6×27.0	"
女 (彫刻)	"	1	ブロンズ 高 14.0	"
少女 (円形レリーフ)	"	1	石 膏 径 14.3	"
岡田三郎助像	吉田 久継	1	ブロンズ 高 26.0	"
岡田愛用品		10		"
絵具箱		1		
パレット		1		
日傘		1		
男胸像		1		
少年マスク		1		
インバネス		1		
袴		2		
画架		1		
ステッキ		1		
画人 岡田三郎助		2	各 73.5×50.5	"
岡田遺作展ポスター				

ポンペイ空港の午後 花	大限 武夫 松本 弘二	1 1	油彩、画布 33.5×24.3 油彩、画布 90.9×65.1	東京都 大限武夫 東京都 松本藤枝
----------------	----------------	--------	------------------------------------	----------------------

④ 工芸資料

資 料 名	数 量	規 格	寄 贈 者
色絵陶板写真パネル	1	240cm×100cm	福岡市中央区天神1丁目4-1 西日本新聞社
彩文土器 プレインカ・ナスカ A.D. 500年頃	1	高 7.1cm 口径 11.7cm	東京都太田区北駒込1-26-10 市村幸恵
彩文土器 プレインカ・ナスカ A.D. 500年頃	1	高 7.0cm 口径 13.9cm	"
彩文土器 プレインカ・ナスカ A.D. 500年頃	1	高 4.6cm 口径 13.0cm	"
斑唐津小皿	1	口径 13.0cm 高台径 4.3cm	佐賀県杵島郡北方町大字志久 3329 猿渡茂登義
ブドウ酒用ガラス瓶	1	高 30.6cm 胴径 9.0cm	佐賀市多布施4丁目1-8 大園 弘
佐賀ガラス水注	1	高 18.8cm 底径 11.5cm	"

⑤ 民俗資料

資 料 名	数 量	規 格	寄 贈 者	備 考
水入れ甕	1	高39cm、胴径35cm	佐賀市本庄町中島 土肥積利	
味噌甕	1	高60cm、胴径36cm	"	
潜水用帽子	1	高43cm	佐賀郡川副町大井道吳服東 龍 勝人	
潜水用靴	1足	総長34.5cm	"	
鴨銃用弾丸製造具	1式		佐賀市嘉瀬新町 田中繁雄	
玉 形	1	長 37 cm		
鉄製鍋	1	通高 34.5cm 器高 16.7cm		
金杓子	1	全長 31 cm 木柄 11.8cm		
鉛 板	3	21 cm 19.3cm 17.4cm タテ 14.8cm ヨコ 10.3cm		
佐賀獵友会 佐賀支部 会員必携			東松浦郡相知町横枕 藤田 勇	別名(女ガメ)
大天ガメ		高 75 cm 口径 51.5cm		
八斗ガメ		高64cm、口径44cm	"	
大甕製作工程品	1	高41cm、口径53cm	"	
"	1	高 22.5cm 口径 32.5cm	"	
粘土紐	3	長 99 cm 長 98.5cm 長 89.5cm		
韓国聞慶窯・製作用具	1式		大韓民国慶尚北道聞慶 郡聞慶邑陳安里198-1 千漢鳳	
トーゲー	1	長 9.3cm		木製
ウェクシング	2	長 15.6cm 長 14.9cm		木製
ヘ ラ	1	長 20.2cm		竹製

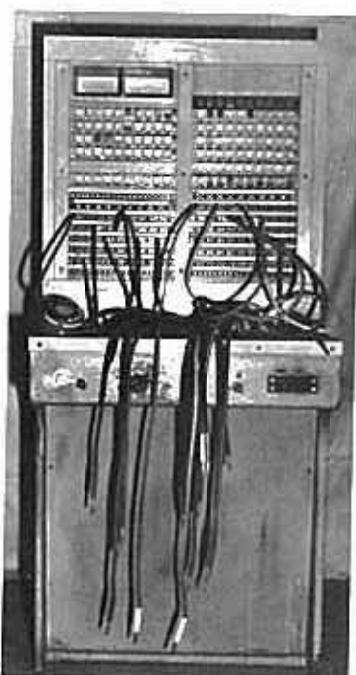
ヘ ラ	1	長 14.6cm		鉄製
削り金具	2	長 16.0cm 長 15.1cm		鉄製
マルカヂュウ	1	長 16.2cm		皮革
韓国草月窯・製作用具	1 式		大韓民国ソウル特別市 中区新堂洞 390-2 横漢圭	
キエッキ		長 33.7cm		鉄鍔状、土を削取る 道具
チエルチュル		長 51 cm		ハリガネ状、両端に つまみ用ビニール
パンメンイ		長 40.6cm		木製の底打ち
チオングムデ		長 34 cm		木製物差し
ミッカセ		長 24.9cm		底切り用の木製ヘラ
トーゲー		長 8.8cm		叩きの内側当て木
スレー		長 34 cm		外面叩き用具、木製
ウェクンゲ		長 24 cm		外フィディに相当、板
ネークンゲ		長 8.5cm		ハマグリ貝殻、外フィ ディに相当
モクカセ		長 14.2cm		竹製、首の高さに切る ヘラ
マルカヂュク		長 16.6cm		フェルト製、黒色
カムヂェビ		長 32 cm 巾 5.1cm		綿布を縫って柔道帯状
トランテ		長 16 cm		木製の回転式施文具
トゥルチュ		長 80 cm		木枝を利用した半円形 の道具
トゥルボ		長 138 cm 巾 29 cm		綿布
シャリキ	1	長 191 cm 巾 112.6cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 田中 武利	
スギンシタガリガマ	1	長 92 cm 柄長 78 cm	"	
"	1	長 92.3cm 柄長 80.3cm	"	
"	1	長 74 cm 柄長 60 cm	"	
クサキリガマ	1	長 56 cm 柄長 51.7cm	"	
"	1	長55cm、柄長52cm	"	
キウス	1	高49cm、径55cm	"	
キ ネ	1	長42cm、柄長74cm	"	
ケズリヨキ	1	全長 94.8cm 斧長 30 cm	"	
トップ	1 着	着丈 71.0cm 身巾 29.0cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 立石キクエ	
アサイト	1 束		"	
ムギノツティレ	1	全長 130 cm 巾 16.5cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 立石 和好	古式（金網式）
ムギノツティレ	1	全長 124.5cm 巾 20.5cm	"	新式（鉄棒式）
イトマキ（田植用）	1	長 35 cm 巾 28cm 芯棒長 81cm	"	

ハイキイ	1	長 81 cm 巾 15.3cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 立石 和好	牛のハミキリ
タケセンバ	1	高 53.5cm 巾 57.5cm	"	
コスキ	1	全長 129 cm	"	
マガ	1	高 63.6cm 巾 84.8cm	"	刃 8 本
コエタゴ	1組	高 51.8cm 径 35.5cm	"	
ガンドウ	1	高 34.5cm タテ、ヨコ 11.2cm	"	ローソク立て
モッタテスキ	1	全長 133 cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 藤田 熊男	
カイリョウスキ	1	全長 125cm	"	ボルト・ナット式 スキサキ有
カイリョウスキ	1	全長 127 cm	"	ツメ 8 本
マガ	1	高 59.5cm 巾 79.3cm	"	
トウミ	1	長 193cm、巾 50cm 高 121.5cm	"	1 本の脚が折損
チャーキ	1	高 40.5cm、長 40cm 巾 65cm	"	田の牛耕用鞍
クサカリガマ	1	長 53.0cm 柄長 48.4cm	"	ウスバガマともいう
セーロ	1	高 51.5cm タテ 34.5cm ヨコ 38.0cm	"	木製角箱三段、フタ付
ナベ	1	通高 33.5cm 径 36.5cm	"	ジュラルミン製
ヒャーラズ	1	高 57.2cm タテ 32.3cm ヨコ 45.6cm	"	
ゴハンモシ	1	高 13.8cm 径 24.5cm	"	ホーロー(青色)
ゴンゴーガマ	1	高 17.2cm 口径 19.0cm	"	鉄釜、鋤かけあり
ヒバコ	1	高 17.8cm タテ 16.2cm ヨコ 23.5cm	"	内箱付、やきもの、渋紙張一部欠損
ゴエモンブロ	1	高 60.5cm 径 79.7cm	"	
オンザシ	1	高 15.5cm タテ 10.3cm ヨコ 16 cm	"	柄はなし、刃部 3 枚
カイテンマガ	1	長 120cm 巾 83cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 山崎 龍雄	橙色塗、回転刃 4 日の本号碎土機
カイテンマガ	1	長 118.5cm 巾 106.5cm	"	橙色塗、回転刃 6
カイテンマガ	1	長 110.5cm 巾 111cm	"	緑色塗、回転刃 6
ウスキ	1	全長 126cm	"	大犁
ウスキ	1	全長 130cm	"	大犁
コスキ	1	全長 131cm	"	小犁
コスキ	1	全長 125.5cm	"	小犁
モッタテ	1	全長 126cm	"	
モッタテ	1	全長 125cm	"	
モッタテの改良	1	全長 130cm	"	
カイリョウスキ	1	全長 124cm	"	
カイリョウスキ	1	全長 130cm	"	九州博多犁八年式 豊國號
カイリョウスキ	1	全長 123.5cm	"	

ムギセンバ	1	高巾 51 cm 58.5cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 山崎 龜雄	刃21本(長16.5cm)有効長
ムギセンバ	1	高巾 56.5cm 58.0cm	"	刃21本 (長17cm)
クサトリキ	1	全長 173cm	"	自家製
クサトリキ	1	全長 163.5cm	"	自家製
クサトリキ	1	全長 160cm	"	購入品
クサトリキ	1	全長 148cm	"	手押シガソメの最近型
イトマキ	1	タテ 25.7cm ヨコ 25.8cm 芯棒長 52.3cm	"	田植用、シユロナワ
ホングラ	1	高47cm、長68.5cm 巾78cm	"	前輪、後輪とも一本づくり
ワラスグリ	1	高10.5cm、長27cm 巾31cm	"	5本ツメ、自家製
コモアミキ	1式	長 140cm 脚高 45.5cm	"	
コモツツロー	5	長16.5cm、径4cm	"	
カギ	3	長 45.5cm	"	
イニヤーカギ	1組	全長 141.5cm カギ長 22.5cm	"	
シャクシ	4	長 31.2cm 巾 9.3cm	"	モウソウダケ製、荒ケズリ
ガンゾメ	1	高 18.5cm 巾 14.5cm 柄長 9cm	"	ツメ4本
テンビンボウ	1	長 190cm 巾 5.5cm	"	杉丸材
トラワナ	1	高 15.5cm 巾 40.3cm	"	
イタチワナ	1	長 25.5cm 径 12.5cm	"	
モグラワナ	1	高 8.3cm 長 14.5cm	"	竹筒利用
ムシロバタのオサ	6	長 10.9cm ~ 103cm	"	鉄製
ムシロバタのウチオロシ	1	高 7.5cm	"	竹
ムシロバタの タタキシメボウ	1	長 42.3cm 巾 4.5cm	"	46穴
ヒミノ	1	タテ 108cm ヨコ 78cm	"	首のクリコミ部 (タテ27cm、ヨコ17cm)
イットマス	1	高 19.5cm タテ 35.5cm ヨコ 35.5cm	"	対角線上に、把手付き
モメンイト	3束		"	
クリテボ	1	高 20cm 口径 31.5cm	"	
ハシキ	4	長21cm、長29cm 長30cm、長31cm	"	(クリ取りのセット) クリハサミ、竹を半割りにし折曲げる
テガワ	1	タテ 16cm ヨコ 10cm	"	ワラ製、小判型
スガモイ	1	高9cm、径48.5cm	"	ワラ、竹製、1尺の釜に使用
スミダツ	1	高 59cm タテ、ヨコ30cm	"	炭俵
オサ	3	長42cm、巾7.5cm	"	
クイドウグ	1	高 83cm 台タテ 48cm ヨコ 30cm	"	織り道具
クイドウグのウツシ	1	高 54cm 台タテ 30cm ヨコ 23cm	"	
ワク	10	高 16.3cm タテ 12.0cm	"	四角型9、六角型1

ミズダル	2	高 27.2cm 径 26.5cm キネ長 55.3cm 径 7.3cm 全長 88cm	佐賀県佐賀郡富士町栗並 山崎 雄雄	ツルベ桶・鉄輪じめ
コギネ	2	全長 112cm ヨコ 32.8cm	"	
ウシ	2	タテ 93.5cm ヨコ 73.3cm	"	屋根葺き用具
バラ	2	全長 53.3cm 柄長 50.4cm	"	竹
ウスバガマ	1	全長 75.5cm 刃長 46.7cm	"	鋸
ダンギイ	1	長37cm~45cm	"	
ヒチクのカワ	1 束	長40cm~50cm	"	
モウソウのカワ	1 束	タテ 60cm ヨコ 30cm 高 47cm	"	
シュロのカワ	1 束	台タテ 24cm ヨコ 24cm	"	鉄製
ローソクタテ	1	通高 45.4cm 高 30.4cm	"	
ガンドウ	1	高25cm、長94cm 巾29cm	"	石油ランプ
ツクエ	1	高45.5cm、径25cm	"	天神机
チョウチン	1 張	通高 36.5cm 高 27.5cm 径 23cm	"	弓張提灯
ムシキ	1	高 79.5cm 長 90.5cm 巾 25cm	"	アルミニウム
スラ	1	高23.5cm、長128.5 巾48cm	"	
ヒバチ	1	高21cm、径20cm	"	ハ周欠、やきもの
カチャイシシボリ	1	高 79.5cm 長 90.5cm 巾 25cm	"	サザンカの実の油シボリ
カチャイシシボリのヤ	2	長 37cm	"	
カチャイシアブラの シボリカス	1	径20cm、厚2cm	"	シュロ縄袋入り
ヤマイキジパン	1 着	脇丈 63.5cm エリ巾 5.5cm 身ごろ 30.3cm	"	
ヤマイキジパン	1 着	脇丈 81.3cm エリ巾 6.0cm 身ごろ巾 30.0cm	"	
アワセ	1 着	脇丈 127.5cm エリ巾 5.5cm 身ごろ巾 29.5cm	"	
サンモモヒキ	1 着	長 70.0cm 巾 43.5cm	"	ヒモノ長 96.5cm
サンモモヒキ	1 着	長82.0cm、巾49cm	"	
フトンのオモテ	1	タテ 164cm ヨコ 124cm	"	
ヒトエ	1 着	脇丈 128cm エリ巾 5.5cm 身ごろ巾 30.7cm	"	
キャバン	1 足	長 30cm 上巾 16.5cm	"	
スリバチ	1	高 12.5cm 径 30.5cm	"	ジュラルミン製
タケ	4	長46cm~47cm 巾 5cm~5.5cm	"	
五段ものの重箱	1 式	高 9.3cm タテ 21.5cm ヨコ 15.0cm	佐賀市水ヶ江6丁目 村岡 サダ	

寄贈資料



磁石式・交換機



磁石式・電話機



日本 東洋文庫蔵
明治三十二年正月
大坂城

日本 東洋文庫蔵
明治三十二年正月
大坂城

大坂城

印

大坂城

大阪城石垣刻印拓本



日本 東洋文庫蔵
明治三十二年正月
大坂城

日本 東洋文庫蔵
明治三十二年正月
大坂城

大阪城石垣刻印拓本



竟造寺の伝系図



書簡・写真・展覧会目録・画人岡田三郎助



髪を梳る裸婦



彩文土器



彩文土器



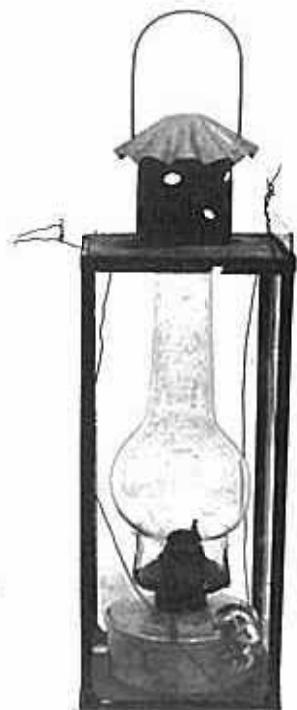
五段ものの重箱



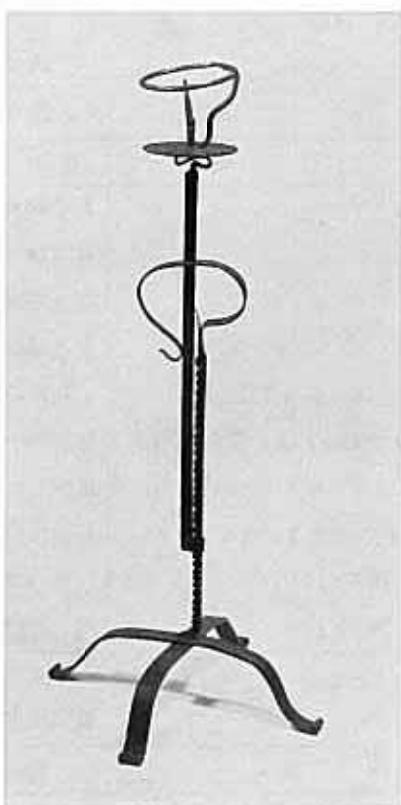
トラワナ



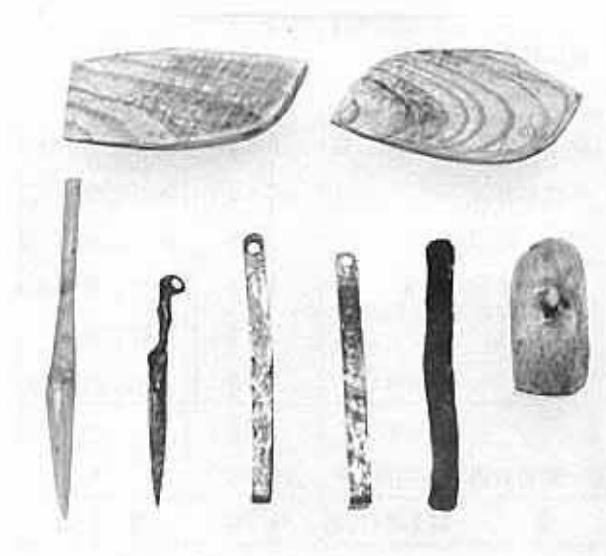
ガンドウ



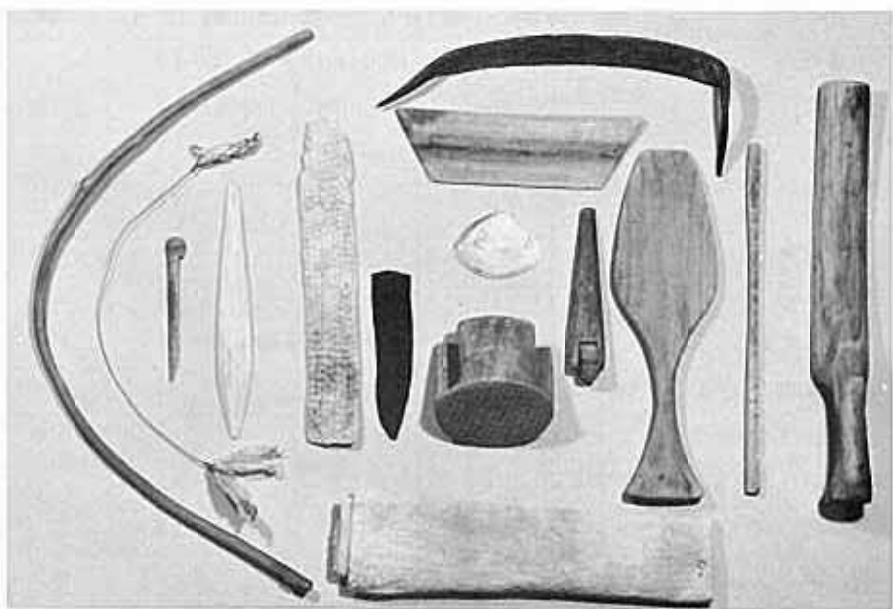
ガンドウ



ローソクタデ



韓国閏慶窯・製作用具



韓国草月窯・製作用具一式

4. 昭和53年度寄託資料

① 歴史資料

資料名	数量	規格	備考
胎藏界曼荼羅図	1	105.3×86.3	鎌倉時代
金剛界曼荼羅図	1	104.6×86.2	鎌倉時代
板絵種子曼荼羅図	1	27.0×25.0	南北朝時代
名護屋城瓦	1	径 30.0	安土・桃山時代
源 忠吉刀	1	銘「肥前国住人源忠吉」長さ 72.2cm	
2代忠廣刀	1	銘「肥前国住近江大掾藤原忠廣」長さ 70.8cm	
忠吉 短刀	1	銘「忠吉」平造片切刃 長さ 29.0cm	
長崎港警備図屏風 (長崎御非番之図宝永2年) はがくれ	1	4曲1隻 紙本著色、手書 163.5×225.2	
	7	和綴毛筆写 26.5×19.0	
愚見集	1	(松本貞丘所持本) 26.5×19.0	

② 美術資料

資料名	作 者	数 量	規 格
ちまた他50点	松 本 弘 二	全 51	内訳は下記のとおり

内 訳

作 品 名	品 質	寸 法 (cm)	制 作 年	備 考
ちまた	油彩、画布	1300×1929 F120	1947	
赤坂見付	"	1300×1621 F100	1937	二科展出品（第24回）
滞 船	"	"	"	"
川 岸	"	"	1938	
満潮の頃	"	"	1958	二科展出品
日照る雨	"	"	1964	
東京の屋根	"	1121×1455 F80	1932	二科展出品
秋立つ	"	"		"
雪の蓼科高原	"	"		"
題不明（岩礁或は涛か）	"	"	1953	
思い出の海（金剛）	"	"	1938	
銀 座	"	130.3×97.0 F60	1956	二科展出品
広 場（於競馬場）	"	"	1969	"
海 女	"	"		

春 雪	油彩、画布	130.3×97.0 F 60	1960	
爪 痕	"	"	1961	二科展出品
平戸港	"	"	1962	第5回現代日本美術展出品
出 渔	"	"	1963	二科展出品
広 場 (サンマルコ)	"	"	1969	
窓	"	91.0×116.7 F 50	1933	
漁 港	"	"		二科展出品
木曾路の夏	"	"		"
夜の風景	"	"	1958	第3回現代日本美術展出品
夏 (札幌競馬場)	"	"	1957	
ガード下風景	"	"		
海鹿島の夏	"	"	1951	
原釜の夏 (A)	"	"	1952	
逍遙遊	"	"	1968	二科展出品
渚の朝	"	"	1971	"
内牧の阿蘇	"	"	1959	第4回日本国際美術展出品
宣伝戦	"	"	1954	二科展出品
ネオンサイン (熱海)	"	"	1960	
鰯 漁	"	"	1955	
木曾川の夏	"	80.3×100.0 F 40	1953	サロン・ド・コンパレーヌ 二科展出品
漁村風景	"	"	1957	二科展出品
夕映の海	"	"	1953	
原釜の夏 (B)	"	"	1952	
海 浜	"	"	1956	
李朝の壺と花	"	"	1969	二科展出品
雉 子	"	90.9×65.1 F 30	1956	
牡 丹	"	"	1941	
室 内	"	"	1956	第2回現代日本美術展出品
戸隠妙高連峰 (アルプス三題)	"	"		二科展出品
海辺の丘	"	"		"
海女のいる浜	"	"		
花	"	"		二科展出品 (画面中央左上 より直径3cm 幅の絵具剥離あり)
房州の窓辺	"	"	1971	
白馬槍連峰 (アルプス三題)	"	"		二科展出品

札幌の夏	油彩、画布	90.9× 65.1 F 30	
無題（雪の庭未完成）	"	"	
廃墟	"	F100	



寄託資料



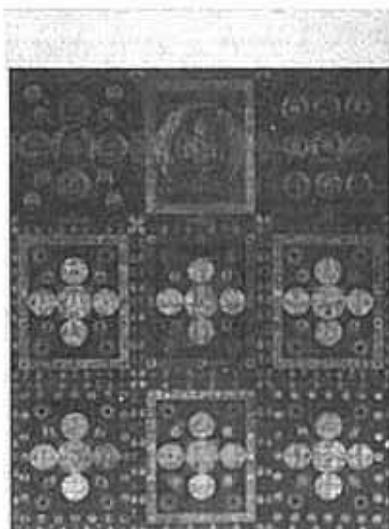
長崎港警備図屏風
(長崎御非番之図 宝永2年)



春雪 松本弘二



はがくれ



金剛界曼荼羅図



愚見集

5. 昭和53年度購入及び寄贈図書

① 購入図書

書名	著者名	数量	発行所
全国博物館総覧 上、下	社団法人 日本博物館協会編集	2	ぎょうせい
御物聚成 書跡Ⅱ	宮内庁侍従職	1	朝日新聞社
くずし字解説辞典		1	近藤出版社
九州沖縄の生きものたち	西日本新聞社	1	西日本新聞社
壱岐の生物	長崎県生物学会	1	長崎県生物学会
対馬の生物	"	1	"
考古学と自然科学 1~10	東京大学理学部人類学教室	10	東京大学理学部 人類学教室
世界考古学事典 全2巻	東村武信	2	平凡社
日本の古地図(長崎、平戸)	武野要子	1	講談社
長崎幕末資料大成 1~5	校訂者 森永種夫	5	長崎文献社
原色日本の美術 26・28		2	小学館
日本南画史	梅沢和軒	1	東方書院
唐津	中里太郎右衛門	1	平凡社
日本のやきもの 唐津	"	1	淡交社
日本のやきもの 12・15	村山 武	3	講談社
陶器講座	中里太郎右衛門	1	雄山閣
染織の旅	鈴田照次	1	芸艸堂
陶磁大系 15	永竹 藏	1	平凡社
茶		1	平凡社
茶室入門	江守奈比古	1	海南書房
図説 台所道具の歴史	山口昌介	1	柴田書店
台所道具の歴史	栄久庵憲司 CK研究所	1	"
明治期山口県捕鯨史の研究	多田穂波	1	マツノ書店
日本産物史	伊藤圭介	1	青史社
農業事物起源集成	大野史朗	1	"
日本の民俗		46	第一法規
日本民俗芸能事典	文化庁監修 日本ナショナル・トラスト編	1	"
日本民俗地図(2・4・5集)	文化庁編集	3	国土地理協会
日本の民俗		11	河出書房新社
国史大辞典		1	吉川弘文館

② 寄贈図書

書名	著者名	数量	発行所	寄贈者
九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告		6	福岡県教育委員会	福岡県教育委員会
福岡南バイパス関係で埋蔵文化財調査報告		3	"	"
山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告		5	"	"
釜山市文化財地表調査報告書	相賀徹夫ほか	1	釜山大学校附属博物館	釜山大学校附属博物館
原色 現代日本の美術 第4、6 8.11		4	小学館	小学館
日本美術全集		1	学習研究社	学習研究社
佐賀県文化財調査報告書		3	佐賀県教育委員会	佐賀県教育委員会
伊場遺跡発掘調査報告書		2	浜松市教育委員会	浜松市教育委員会
長崎県文化財調査報告書		3	長崎県教育委員会	長崎県教育委員会
日本の歴史 1. 14		2	学習研究社	学習研究社
李朝工芸と古陶の美		1	東洋経済日報社	東洋経済日報社
太陽		1	平凡社	平凡社
日本原始美術大系 2. 5		2	講談社	講談社
美術研究 303~308		6	東京国立文化財研究所	東京国立文化財研究所
兵庫県史 第三巻	岡崎 敬	1	兵庫県	兵庫県
日本の歴史 1		1	学研	学研
日本における古鏡	岡崎 敬	7		九大 岡崎 敬
日本における古鏡発見地名表	"	1		"
日本の考古遺物		1		東京国立博物館
明治大正図誌 9		1	筑摩書房	筑摩書房
探訪 大航海時代の日本		3	小学館	小学館
考古学資料		1	東北大学文学部 考古学研究室	東北大学文学部 考古学研究室
日本史の謎と発見日本人の先祖		2	毎日新聞社	毎日新聞社
佐賀県史料集成古文書編	金貞培著	1	佐賀県立図書館	佐賀県立図書館
韓国民族文化の起源		1	学生社版	藤口健二
日本原始美術大系 2		1	講談社	講談社
陶磁大系 22		1	平凡社	平凡社
NHK新日本紀行		1	新人物往来社	新人物往来社
ジュニア日本の歴史		1	小学館	小学館
佐賀市史		2	佐賀市	佐賀市
日本の工芸		1	淡交社	淡交社
相知町史		1	相知町	相知町
新日本史探訪		2	角川書店	角川書店
日本美術年鑑		1	東京国立文化財研究所	東京国立文化財研究所
日本庶民生活史料集成	三一書房	20	三一書房	佐賀新聞社
大日本地名辞書	吉田東伍 東京大学 史料編纂所	8	富山房	"
史料綜覧		17	東京大学出版会	"
原色版国宝		12	毎日新聞社	"
江戸時代図誌		27	筑摩書房	"
四季の花鳥画 上・下	川浪養治	2	美乃美	川浪養治
川副町誌		1	川副町	川副町
佐賀県政史		2	佐賀県	佐賀県

茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で6年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に渗透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や各種団体による茶会など幅広く利用された。

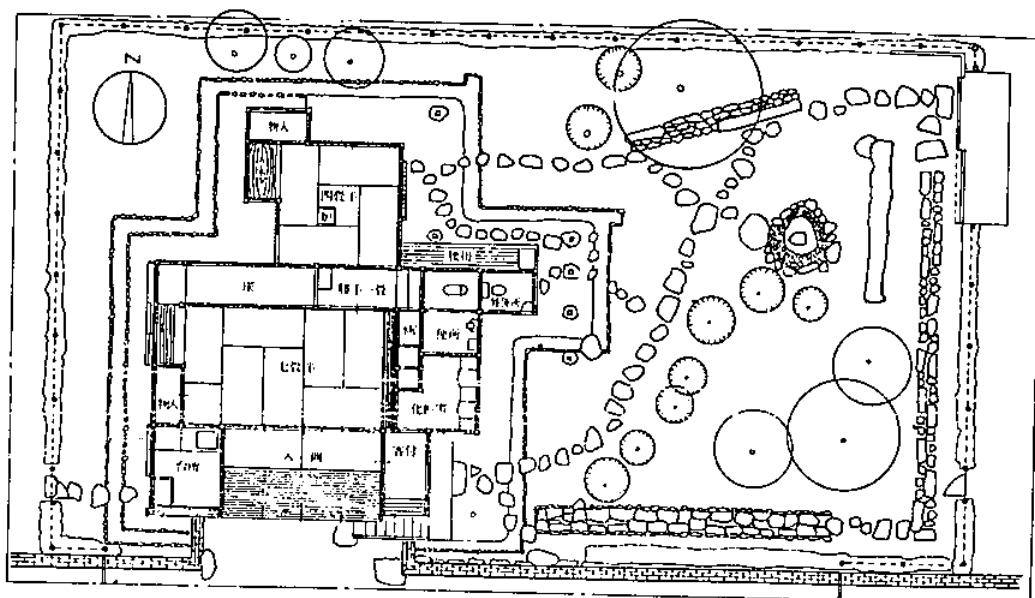
1. 茶室の規模および施設

設計者 堀口捨己 東京都太田区山王4-6-5

早川正夫 東京都港区南青山5-9-12 アイザワビル

構造 木造平家建寄棟造・規模 床面積 57.35m²

茶室平面図



2. 茶室の規則、規程

- 佐賀県立博物館の管理に関する規則（昭和45年佐賀県教育委員会規則第10号）抄

第15条 館長は、博物館の業務に支障のない範囲内において、大展示室・中展示室及び茶室等の施設を博物館事業に関係のある行事のために使用させることができる。

附 則（昭和48年10月11日規則第11号）

この規則は昭和48年10月11日から施行する。

- 佐賀県行政財産使用料条例等の取扱いについて

地方自治法（昭和22年法律第67号）第228条の4第3項及び佐賀県立博物館の管理に関する規則（昭和45年佐賀県教育委員会規則第10号）第15条の規則に基づき、佐賀県立博物館の大展示室・中

展示室及び茶室の使用を許可する場合の事務手続き及び使用料については、佐賀県行政財産使用料条例（昭和39年佐賀県条例第33号）及び佐賀県公有財産規則（昭和40年佐賀県規則第6号）を適用し、関係条項の取扱いは、下記のとおりとする。

記

1. 大展示室・中展示室及び茶室の一時使用許可の手続きについては、佐賀県公有財産規則第20条の規定によることとする。
2. 前項の許可による使用料の額は、佐賀県行教財産使用料条例の別表中「講堂、体育館及びこれに類するもの」に該当するものとしてその額を定めるがこの場合、昭和39年12月17日付管第642号の総務部長通知による定めにかかわらず、実情に即して下表によることとする。

名称構造等	面積(㎡)	期間(時間)	使用料(円)
大展示室	523.5	4	1,500
中展示室	136.0	4	500
茶室	57.35	4	1,500

3. 前項の使用料の減免について佐賀県行政財産使用料条例第5条を適用する場合その取扱いについては前項の総務部長通知の運用によることとする。
4. 大展示室・中展示室及び茶室を使用させるさいの光熱水費等については、前項の総務部長通知の取扱いによることとし、なお光熱水費等の徴収額は、下表のとおりとする。

区分	大展示室	中展示室	茶室	備考
冷暖房しない場合	310	70	30	1時間当り
冷房の場合	840	140	—	〃
暖房の場合	590	130	—	〃

。佐賀県立博物館茶室「清恵庵」使用規程（昭和48年10月20日 佐賀県立博物館規定第26号）

(趣旨)

第1条 佐賀県立博物館茶室清恵庵（以下「茶室」という）の使用については、この規程の定めるところによる。

(使用申込)

第2条 茶室を使用しようとする者は、茶室使用申込書（別記様式第1号）により使用期日の10日前までに佐賀県立博物館長（以下「館長」という）に申し込むものとする。

(使用の許可)

第3条 館長は、前条の申し込みによる茶室の使用を認める場合は、茶室使用許可証（別紙様式第2号）を交付するものとする。

(許可の取消等)

第4条 館長は、茶室の使用許可を受けた者が次の各号の1に該当する場合は、使用の許可を取り消し、又は使用を中止させることができる。

1. 茶室使用申込書に虚偽の記載があったとき。
 2. 許可の条件に違反したとき。
 3. 関係職員の指示に従わなかったとき。
2. 前項の許可取消等により生じた損害についての補償は行なわない。

附 則

この規程は、昭和48年10月20日から施行し昭和48年10月11日から適用する。

3. 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、6年目に入り、県内はもとより県内外にも広く周知され、好評を得ている。当年は茶室開室五周年記念として53年11月5日に合同茶会を催しましたところ、市村茂人氏、内田祥哉氏、早川正夫氏、池田知事他県内外からの多くの方々の御来席を得、盛会の裡に終了することができました。

又各流の茶道グループ、婦人学級、青年団、学校などの団体あるいは、茶道同好会など、利用者の幅がさらに広まり、社会教育、学校教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は下表のとおりである。

年 月	利用団体数	利用者数(名)	見学者数(名)
53. 4	3	67	21
5	5	46	7
6	3	13	10
7	0	0	4
8	2	15	14
9	3	59	1
10	0	0	0
11	4	1,563	47
12	4	33	445
54. 1	4	68	11
2	1	50	39
3	3	29	75
合 計	32	1,943	674

4. 茶道具備品

(1) 昭和52年度末の概況は次のとおりである。 172点

掛物（淡淡斎宗室、希齋宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、壳茶翁の二行書）

花入（胡銅、朝鮮唐津「中黒重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原謙作」、備前焼、竹花衣「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有

馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、青磁鶴首花入「小笠原謹」
 香合・香炉（12代今泉今右衛門作、井上万二作、宗祥作、黒牟田焼「丸田正美」、菊花書詰蒔絵
 印香合「助市作」）
 茶碗（唐津奥高麗「中黒無庵作」、絵唐津「13代中里太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」
 小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原謹作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸「中里
 重利作」、白地茶碗「初代忠右衛門作」、唐津皮鯨茶碗「中里重利作」）
 水指（信楽焼「高橋樂斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、12代今泉今
 右衛門作）
 薄茶器（沈金棗「安村稔作」）
 濃茶器（13代酒井田柿右衛門作）
 風炉（利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉）
 釜（切合釜、竹紋繩口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲竜釜「高橋敬典作」、尻張釜
 「高橋敬典作」）
 棚（竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長板）
 火入（染付「12代今泉今右衛門作」）
 葉子鉢（唐津焼「13代太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口正美作」）
 建水（不審庵伝来写「11代中川淨益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、
 唐銅）
 皆具（唐銅「祥栄作」）
 風炉先屏風（秋草蒔絵）
 曲湯桶、置炉、瓶掛等、蒟蒻、塗四方盆

(2) 昭和53年度購入備品

品 名	数量	作 者	規 格
高大寺蒔絵炉縁	1	柴 田 利 雄	たて (内径 35cm 外径 42.5cm) よこ (内径 35cm 外径 42.5cm)
茶 均	1	宗 泰 泰	中節 18.2cm 筒 21.4cm (昔付逸外和尚筆ノ好日竹)
黒楽茶碗	1	小 川 長 楽	高さ 8.5cm 口径 11.7cm
葉子器（青磁鉢）	1	弓野 寂 中島 宏	口径 18.7cm 高さ 6.5cm

(3) 昭和53年度寄贈備品

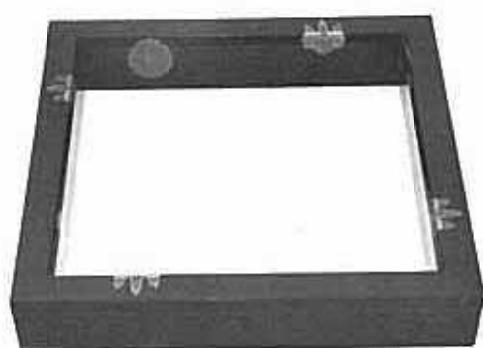
品 名	数量	作 者	規 格	寄 贈 者
扁 額	1	表千家 千宗佐(13代)	たて 30cm よこ 49cm	東京都大田区北馬込 市 村 幸 恵
竹花入	1	生野祥雲斎	口径 6cm 高さ 25.1cm 手 24.2cm	"
茶 碗(志野)	1	荒 川 豊 藏	口径 12cm 高さ 10cm	"

茶碗(支那焼)	1	千漢圓	口径 11cm 高さ 6.5cm	東京都大田区北馬込 市村幸恵
" (高麗斗々屋)	1	"	口径 14cm 高さ 7cm	大韓民国 千漢圓
水指(高麗)	1	"	口径 14.7cm 高さ 16.9cm 胴径 15.1cm	"
菓子器(現川焼)	1		口径 15.5cm 高さ 6.5cm	長崎県立美術博物館
茶托(けやき)	10		口径 4.2cm 高さ 4.5cm	東京都大田区北馬込 市村幸恵
茶碗の蓋(けやき)	9		口径 9.1cm	"

購入備品



茶杓



高台寺蒔絵炉緑

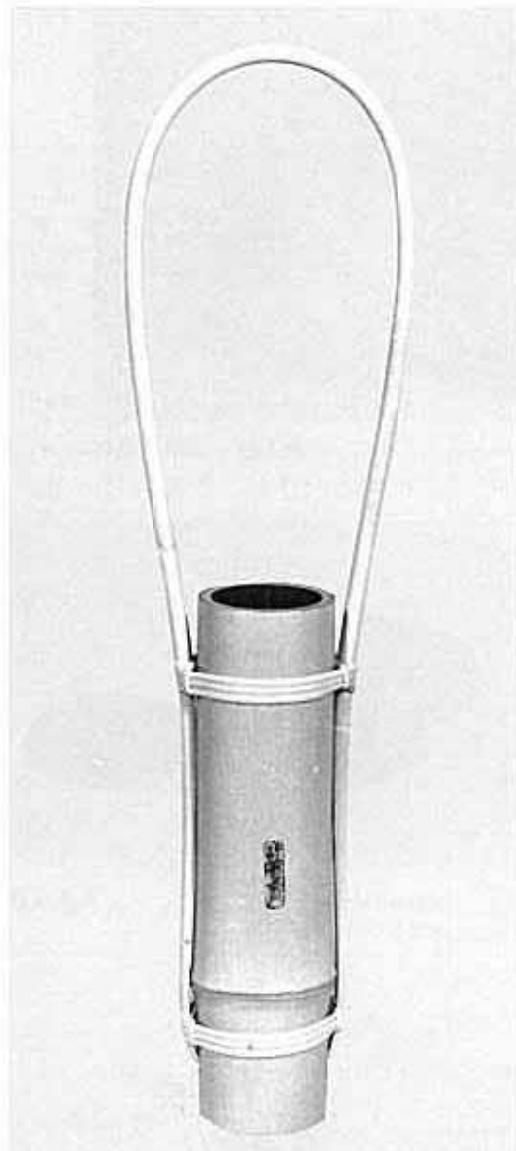


黒楽茶碗



菓子器(青磁鉢)

寄贈備品



竹花入 生野祥雲齊作



高麗水指 千漢鳳作



高麗斗々屋茶碗 千漢鳳作



茶碗 (支那燒)



志野茶碗 荒川豊蔵作



菓子器 (現川燒)



茶托と蓋



扁額 表千家千宗佐書



佐賀県立博物館の展示事業 (昭和54年度)

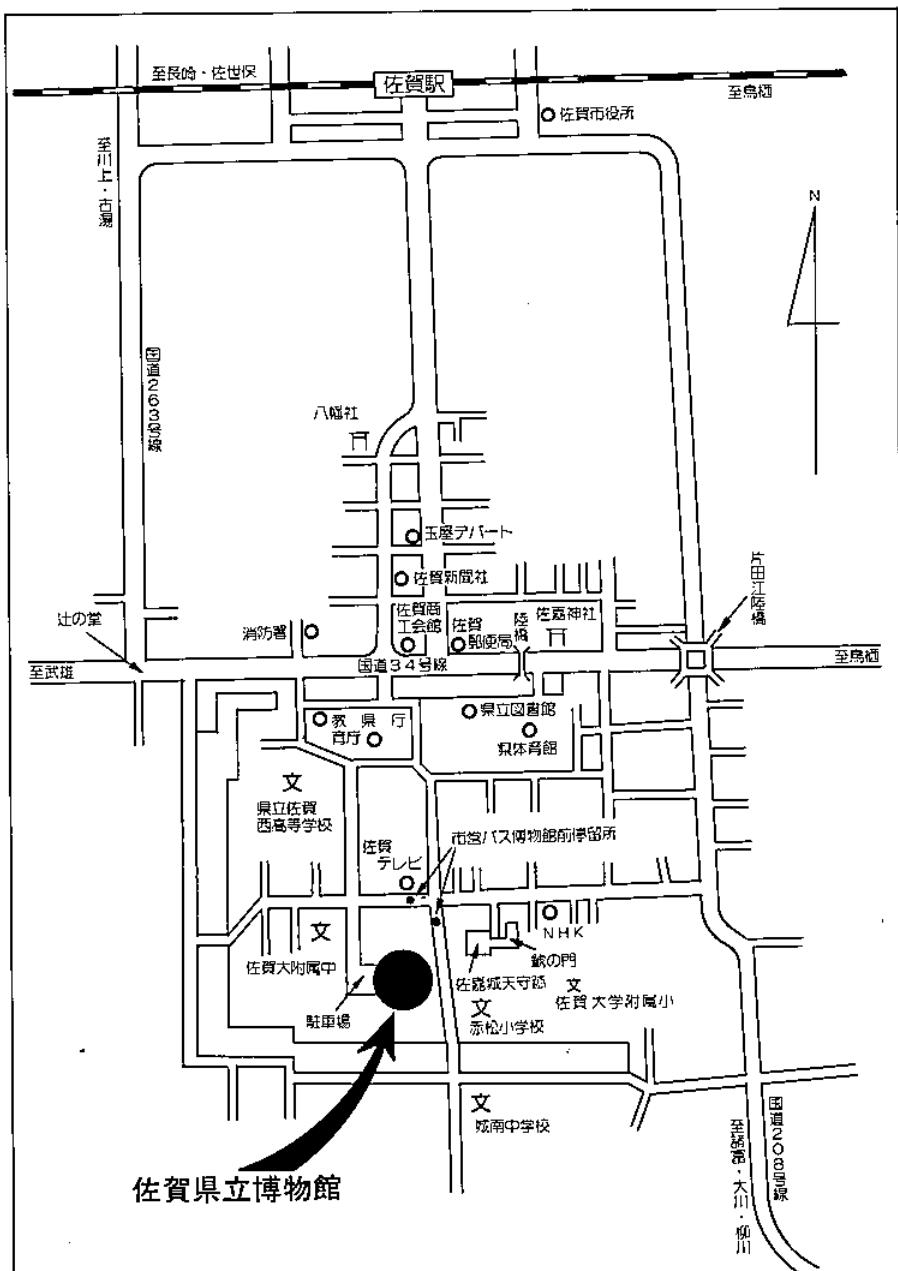
常 設 展 (原則として月曜及び祝日の翌日休館)			
佐賀県の歴史と文化展	4月1日～4月22日 5月27日～7月1日 8月5日～9月30日 55年 12月11日～3月31日	大人 50(30) 大・高生 30(20) 中・小生 20(10)	佐賀県の地質や自然および先史時代から現代にいたる歴史と文化についての、理解を深めるために自然史、考古、歴史、美術工芸、民俗の各部門について、系統的に資料を展観する。

企 画 展 (原則として月曜休館、月曜祝日の場合は火曜休館)			
展覧会名	会期	観覧料 ()内は団体料金	備考
スペイン美術展 —須磨コレクション—	4月28日～5月20日	大人 200(100) 大・高生 150(70) 中・小生 100(50)	須磨コレクションは、故須磨弥吉郎氏が、第二次世界大戦中スペインの特命全権公使として在任中、公務の傍ら、スペイン各地で収集された中世から近代におよぶ油絵、板金、彫刻類からなっている。本展では、このうち12～13世纪頃に制作されたと思われる国内では見る機会の極めて少ない祭壇装飾の板金、および木彫、石彫等をはじめ、油絵画では、20世纪スペイン美術の偉大な画家の一人、ソラナの作品を含めた秀作66点を選び、紹介する。 この展示を通して、スペイン美術、さらには西洋美術の本質を探り、一般県民の文化的意識の向上の一助として展観するものである。 なお、このコレクションは、故須磨弥吉郎氏から昭和45年、長崎県立美術博物館に寄贈されたものである。
佐賀美術協会展	6月14日～6月24日	無 料	佐賀美術協会は60余年の歴史を持ち、県美術展と並んで、新造作家の人達の有力な登録部門ともなっている。本展は今年第62回を迎え、日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門で約二百数十点が展覧される。
岡田三郎助展	7月7日～7月29日	大人 500(400) 大・高生 300(200) 中・小生 200(100)	岡田三郎助(1869～1939)は佐賀県が生んだ近代日本の代表的な洋画家である。 岡助は、明治4年、3歳のとき上京し、19歳で洋画塾に入塾、その前半生において画壇に確固とした地位を築いて以来、昭和41年71歳の生涯を閉じるまで、つねに洋画界の第1人者として活躍した。 この間、たんに洋画にとどまらず、工芸の分野における功労も大きく、昭和12年、第1回の文化勲章授受の光栄に浴した。 岡助死去されて40年、その代表的作品を一堂に集め、一般的の鑑賞に供するとともに、岡助の生涯をかえりみ、併せて語れるものである。
七夕展	8月4日～8月8日	無 料	この書道展は、小・中・高等学校の児童、生徒を中心に一般人も含めて作品を公募して展示するものである。 本展をとおして書道教育の振興発展に寄与する。
佐賀県書作家協会展	8月10日～8月14日	無 料	近代書道の先駆者、中林悟竹、副島義海という偉大なる書家を先輩にもつ本県の書道界が一堂に会して、本県書道界の飛躍的発展を期して開催するものである。
文化庁移動美術展	8月21日～9月9日	大人 200(150) 大・高生 100(70) 中・小生 50(30)	文化庁が買い上げた優れた美術作品を巡回展示して、地方美術の振興と普及に資する。 部門、日本画、洋画、版画、彫刻(70点)
理科作品展	市・9月14日～9月18日 県・9月20日～9月26日	無 料	佐賀市内および佐賀県内の小・中・高等学校の児童、生徒のすぐれた動物(昆虫を含む)、植物、岩石結晶、理科創作品を展示し、科学に関する創意的研究の発展と向上をはかるとともに、広く一般の観覧に供し、科学教育に対する理解を深める。
古代の遺宝展 —鏡と剣と玉—	10月6日～11月4日	大人 300(200) 大・高生 200(100) 中・小生 100(50)	日本の原始、古代社会では鏡と剣と玉は祭祀用具として中心的存在であった。 日本神話では利器をもって神祇をまつるのが常であり、剣のもうつ威力は利器としてだけでなく、呪力としても古代の人々を規制した。鏡もまた剣や玉とともに宝器であり神威や権力と結びつきいわゆる「三種の神器」を構成した。 佐賀県内では唐津城周辺及び天山、背振山麓部を中心とした墓域から出土した幾多の「鏡、剣、玉」が知られており、またこの地方では武器やガラス勾玉の鋳型も発見されて、その時代の祭儀への需要にも応じていることが知られる。 この特別展では九州各県の教育委員会並びに文化庁の後援を得て、九つの資料を網羅し、ひいては関連資料を広く国内に求めてこの「遺宝」のもつ意義を追求しようとするものである。
佐賀県美術展	11月17日～11月25日	大人 200(150) 大・高生 100(70) 中・小生 50(30)	日本画、洋画、彫塑、工芸、写真、書、宣伝美術の各部門で県内から公募した作品及び招待作品等を展示して佐賀県の現代美術を一般的に紹介し、地方文化の高揚に資する。
佐賀県高等学校芸術祭 美術・書道部門展	11月28日～12月4日	無 料	次の世代を担う高校生の芸術文化活動の交流、向上をはかるため、高校芸術祭を開催。 本年度からは從来の演劇、音楽部門に、新しく美術、書道の4部門で実施する。
佐賀県学童美術展	12月8日～12月12日	無 料	本展は県下の小・中学校の美術振興のため創設された児童、生徒の登録部門の展覧会で、絵画、デザインとも力強くあふれる展覧が期待される。

展覧会名	会期	観覧料 ()内は団体料金	備考
九州グラフィックデザイン展	55年 1月10日～1月16日	無料	この展覧会はデザイナーの登龍門となっており、九州、沖縄各県広域文化の向上発展と相互の交流をはかるための一環である。現在第一線で活躍するグラフィックデザイナーの作品50点と一般公募作品100点余を展示し、グラフィックデザイン界の発展に寄与する。
書初展	1月19日～1月23日	無料	県内小・中・高等学校児童、生徒及び一般人の毛筆書写について関心をもたせ、たゆまぬ努力によって作品効果が表現出来ることを理解させるための展示であって、本県の書道教育の向上と佐賀県書道の振興発展に寄与する。
佐賀県労働者美術展	1月27日～2月1日	無料	美術愛好の労働者の作品を対象とした労働者美術展は今年10回目を迎える。公募の形式をとっているが、絵画、書、写真、工芸の4部門からの全出品作品約250点を展覧する。
佐賀大学卒業制作展	2月21日～2月24日	無料	佐賀大学美術科は特設美術科教員養成課程、中学校美術教員養成課程、小学校教員養成課程園工選修の各コースから成りたち。特別教科は九州、山口一円に亘り高校美術、工芸の教員としての多くの人材を送り出している。毎年学中の研究の集約として各人努力作を展覧する。
肥前の 捕鯨民俗資料展	3月1日～3月23日	大人 200(150) 大・高生 100(50) 中・小生 50(30)	鯨は原始時代から人々の暮らしに多面的に利用されてきた。 近世になって九州では肥前、筑前、壱岐、対馬、などの地に捕鯨業が成立した。 佐賀島呼子、小川島の沖合いは鯨の回遊路にあたり、元禄3年に は中尾基六が鯨組を創業し、やがてその財力は大名をしのぐという 隆盛を見せた。 しかし幕末以降はあまり振わず、ついに昭和31年にはすべての捕 鯨活動は終りをつけた。 ここに玄界灘周辺地方とも関連させて小川島における捕鯨業の歴史を 紹介し、あわせて農業の発達や庶民の暮らしや精神生活に及ぼ した影響など「くじらと人のかかわり」を探くるものである。

各展示会は都合により変更されることがあります。

案内図



交通機関

佐賀駅から市営バス市内右廻り 博物館前下車
左廻り

各バス（昭和、祐徳、市営）で県庁前下車

南へ300m 徒歩12分

佐賀県立博物館年報 第9号

発行年月日 昭和54年5月31日

編集発行 佐賀市城内1丁目15-23
佐賀県立博物館

印 刷 日 之 出 印刷株式会社

佐賀市城内1丁目15-23 番840

佐賀県立博物館